



三菱掃除機(家庭用)

取扱説明書

形名

テーシー ゼットエックスエイチ ピー

TC-ZXH30P

（ブラシ自走機能
毛がらみ除去機能） **パワーブラシ**



- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 「保証書」は「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は、大切に保存してください。

※この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

もくじ

ページ

特長	2
安全のために必ずお守りください	4
各部のなまえ	6

使
つ
ま
え

お掃除する	8
エアブロー機能を使う	12
上手なお掃除	14
ゴミをすてる	16

使
い
か
た

お手入れ

●サイクロンボックス	18
●パワーブラシ	20
●ふとんブラシ	22
●クリーンカートリッジ	23
●2WAYロングノズル	24
●本体	24
●すみずみブラシ	24
●エアブローノズル	24
●ブローはたきノズル	25

お
手
入
れ

収納する	26
故障かな?と思ったら	27
保証とアフターサービス	30
仕様	31
消耗部品	31
故障などを防ぐために	裏表紙

こ
ん
な
と
き

製品登録のご案内

三菱電機のウェブサイト「製品登録」いただくと、製品に関するお役立ち情報をメールやウェブサイトでご紹介します。

三菱電機製品登録

検索

特長

風神サイクロンテクノロジー

■ 吸引力持続

ムダな風路のない「ダイレクト吸込み構造」で超高速遠心分離を実現しました。小さなゴミまでしっかり分離し、吸引力が持続します。



■ クリーン排気

「ゴミを分別するサイクロン」だからゴミの中を風が通りやすく、ニオイの発生を抑制します。窓を開けなくても快適にお掃除できます。

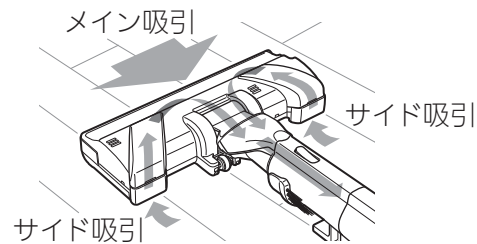
■ 簡単お手入れ P18~19

サイクロンボックスは簡単に分解でき、すべて水洗い可能なため、清潔にお使いいただけます。

パワーブラシ

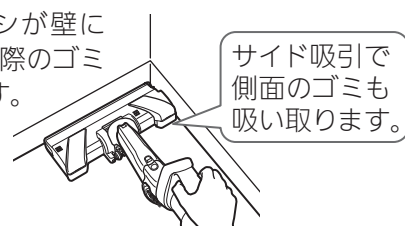
■ 3つの風路構造

前側のメイン吸引と後側のサイド吸引(2カ所)で、ゴミやホコリをサッと吸込みます。



<壁ぎわ>

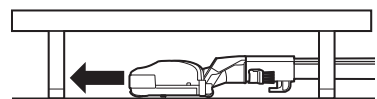
パワーブラシが壁に密着して、壁際のごみを吸込みます。



サイド吸引で側面のごみも吸い取ります。

<家具の下>

パワーブラシがフラットになるから、ベッドやソファの下までスムーズにお掃除できます。



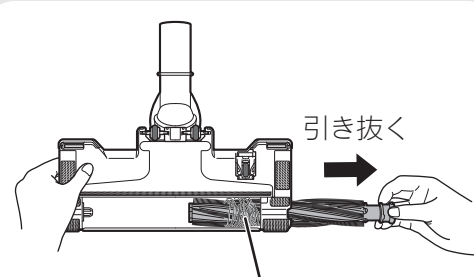
■ ブラシ自走機能

回転ブラシの回転力により、じゅうたん上でも軽い操作でお掃除できます。

(ただし、毛足の長いじゅうたんや、薄いマットの上では、ブラシ自走機能が発揮されることがあります)

■ 毛がらみ除去機能

回転ブラシを引き抜くだけで、回転ブラシにからみついた髪の毛などを除去します。簡単にお手入れできるので、清潔にお使いいただけます。

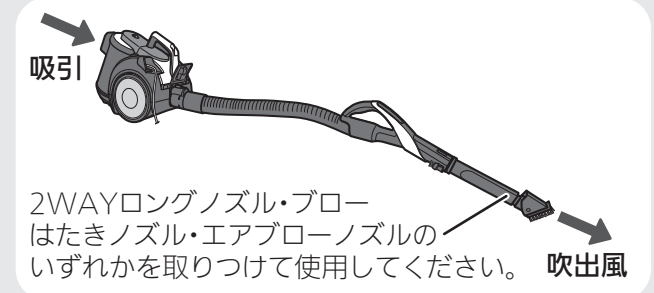


回転ブラシにからみついた髪の毛などが取れます。

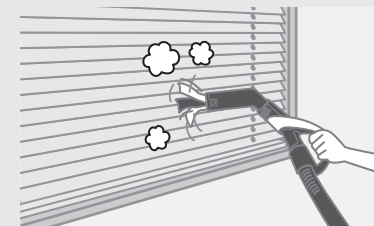
風のカでゴミを掃き出す エアブロー機能 P12~13

排気口から出るクリーンな排気を利用してゴミを掃き出します。

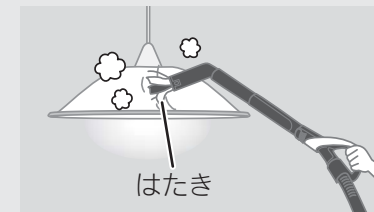
風のカでパワーブラシが入らない狭い場所のホコリやゴミなどを掃き出して取り除くことができます。はたき掃除やほうきで掃くようなお掃除も可能です。



<ブラインド>

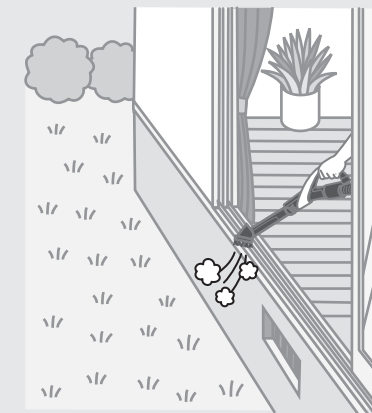


<照明の傘>

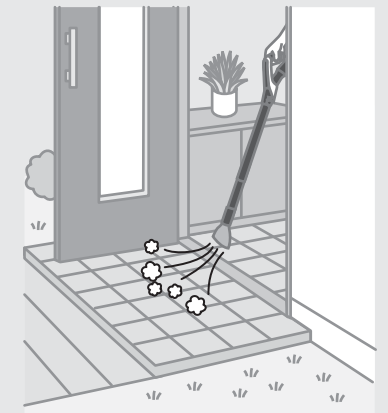


ブローはたきノズルは、運転を始めると、はたきがノズルから出ます。

<窓のサッシレール>



<玄関>



こんなところにも…

- 冷蔵庫やソファなどの下、家具のすき間
- カーテンレールなどの高いところ
- 車のシート
- あみ戸など

長くお使いいただくために…ご確認ください。

■ 吸引力が弱くなったとき

- サイクロンボックス・クリーンカートリッジを正しく取りつけていますか。 → 正しく取りつけてください。 P17・23
- コーンメッシュ・クリーンカートリッジが目づまりしていませんか。 → お手入れしてください。 P18~19・23
- ホース・伸縮パイプ・パワーブラシにゴミがつかまっていませんか。 → 取り除いてください。 P20~21・27

■ ゴミを吸いにくいとき、パワーブラシの操作がしにくいとき

→ パワーブラシをお手入れしてください。 P20~21

■ ゴミすて後やお手入れ後は、サイクロンボックスを正しい向きで取りつけてください。 P17

安全のために必ず お守りください

■お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
 ■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

■本文中や 本体に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。	注意 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。	禁止	ぬれ手禁止	分解禁止	火気禁止	水ぬれ禁止	接触禁止	指示を守る	電源プラグを抜く	指を挟まないよう注意 (パワーブラシ表示)
--	--	----	-------	------	------	-------	------	-------	----------	-----------------------

警告

引火性のあるものや火気のあるもの・液体を吸わせない
 (灯油、ガソリン、シンナー、ベンジン、トナーなどの可燃物、たばこの吸いがら、水、飲みものなど)
 [火災・感電の原因]

電源コードを回転ブラシに巻き込まない
 [電源コードがいたみ、感電の原因]

いたんだ電源コードや電源プラグ、差し込みのゆるいコンセントは使わない
 [感電・ショート・発火の原因]

電源コードや電源プラグを傷つけない
 (傷つけない・無理に曲げない・引っ張らない・ねじらない・束ねない・重いものをのせない・はさみ込まない・加工しない)
 [破損して、火災・感電の原因]

運転中は回転ブラシや回転ストッパーに触れない
 [けがの原因]
 特にお子さまにご注意ください。

水洗いしない、風呂場などでは使わない
 (サイクロンボックス、回転ブラシ、クリーンカートリッジ、応用付属品は洗えます。)
 [感電の原因]

電源プラグはぬれた手で抜き差ししない
 [感電やけがの原因]

改造しない、分解・修理しない
 [火災・感電・けがの原因]
 修理は、お買上げの販売店または、「三菱電機 修理窓口」にご相談ください。

電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う
 [他の器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱して火災・感電の原因]

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
 [差し込みが不完全だと、感電・ショート・発煙・発火の原因]

電源プラグのホコリなどは定期的に乾いた布で拭き取る
 [電源プラグにホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因]

ゴミすて・お手入れのときは電源プラグを抜く
 [感電やけがの原因]

異常・故障時には直ちに使用を中止する
 [発煙・発火・感電・けがの原因]

- スイッチを入れても、運転しない
- 電源プラグやコードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 運転中、時々止まる
- 運転中、異常な音がする
- 本体が変形したり、異常に熱い
- ホースが破れている
- こげくさいにおいがする
- その他の異常や故障がある

すぐにスイッチを切り、電源プラグを抜いてから、販売店にご相談ください。

注意

吸込口をふさいで長時間運転しない
 [過熱による本体の変形・発火の原因]

排気口をふさがない
 [火災の原因]

排気口に手や足を近づけない
 [排気により、やけどをする原因]
 特にお子さまにご注意ください。

ホース・伸縮パイプ・本体のピン穴・排気口に金属物を入れない
 [感電の原因]

ふとんブラシでふとん以外を掃除しない
 [床面に傷がつく原因]

収納の状態では本体を持ち運ばない
 [伸縮パイプがはずれて、けがや床面に傷がつく原因]

ガソリン・ベンジン・シンナーなど、引火性のものの近くで使わない
 [爆発や火災の原因]

火気に近づけない
 [●本体の変形によるショート・発火の原因
 ●排気でストーブの火などが大きくなり、火災の原因]

〈エアブロー機能使用時〉

- 吹出口をふさがない
 [過熱による本体の変形・発火の原因]
- ホース差込口をふさがない
 [火災の原因]
- ホース差込口に顔などを近づけない
 [吸いついてけがをする原因]
 特にお子さま・ペットにご注意ください。
- 人に向けて使わない
 [吹出風により、やけどをする原因]
- 本体を引き回さない
 [家具などに傷がつく原因]

〈パワーブラシについて〉

- 車輪・回転ストッパー・ふきブラシ・フェルト部などが摩耗したまま使わない
 [床面などに傷がつく原因]
- 車輪などに髪の毛などがからみついたまま使わない
 [床面などに傷がつく原因]
- 強くななめに引きずったり、壁・床面などに強く押しあてたりしない
 [床面や家具などに傷がつく原因]

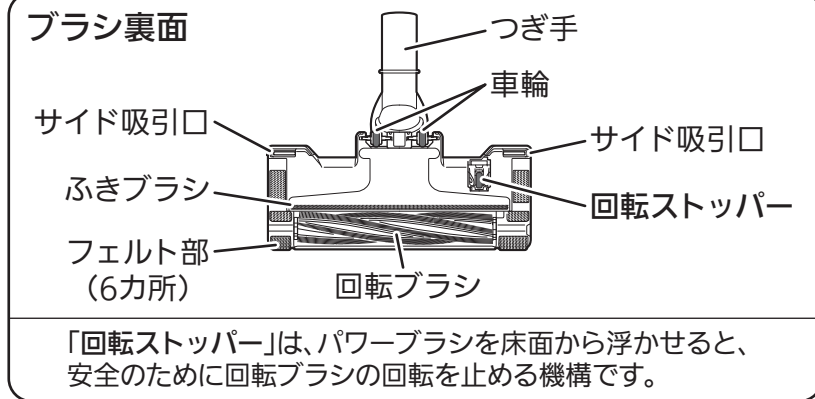
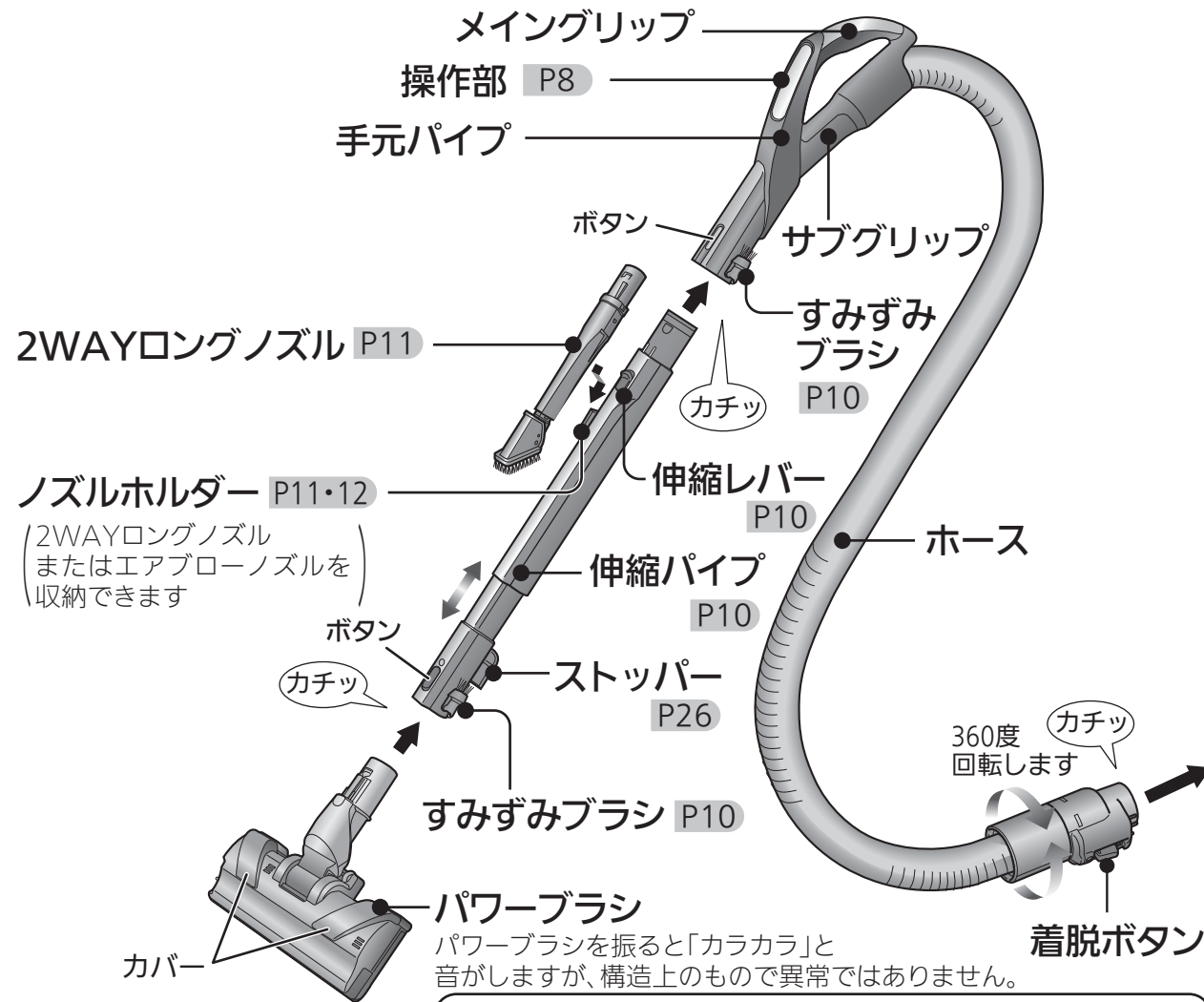
電源コードを巻き取る時は電源プラグを持つ
 [手をはなすと電源プラグがあたって、けがをする原因]
 特にお子さまにご注意ください。

電源コードは電源プラグを持って抜く
 [感電やショートして発火・火災に至る原因]

使い終わったら電源プラグを抜く
 [けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因]

使つまえ

各部のなまえ

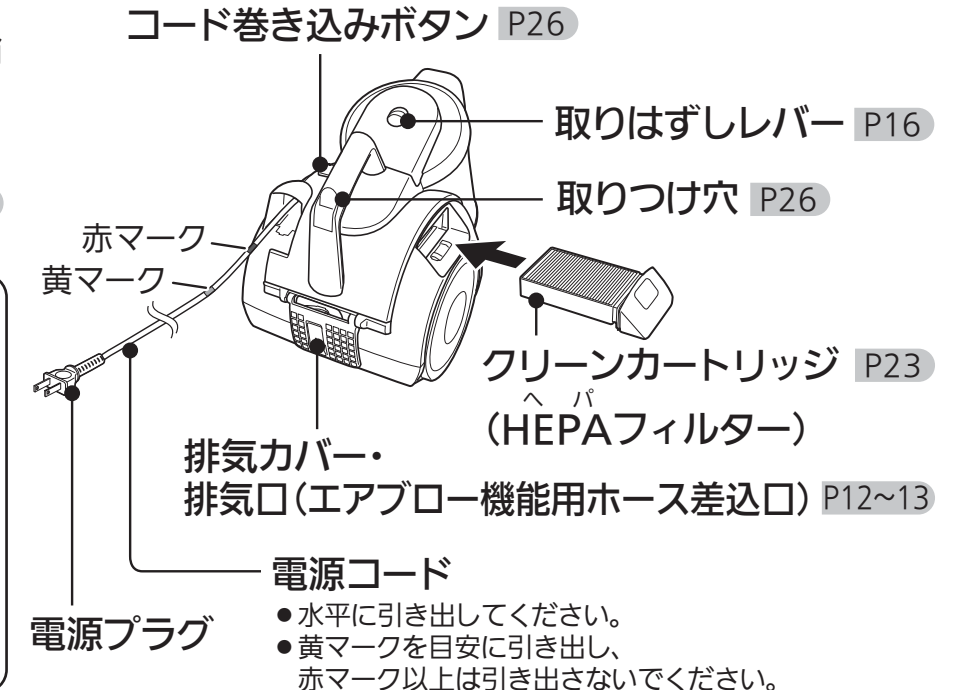
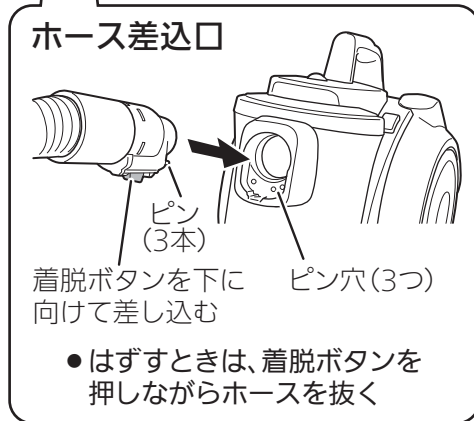
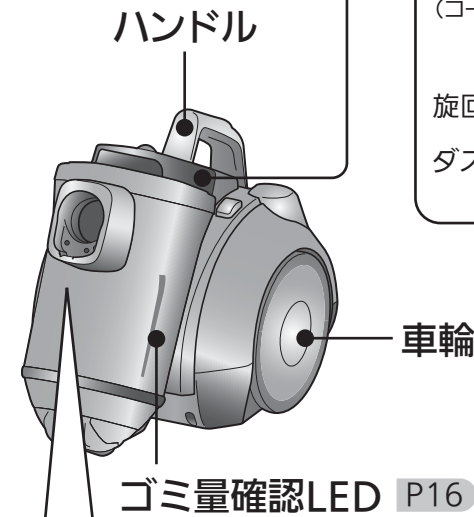
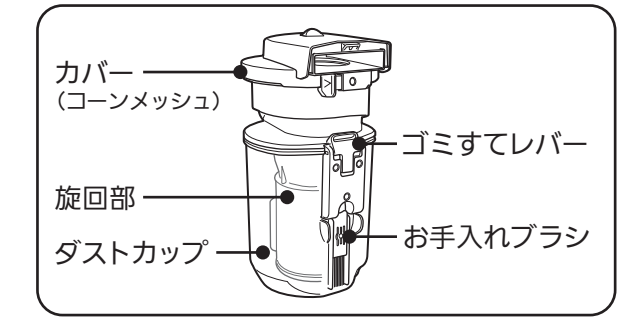


組み立てかた

- ホース・伸縮パイプ・パワーブラシ・ふとんブラシは、「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。
- はずすときは、ボタンを押しながら抜いてください。

サイクロンボックス

- ゴミをすてる P16~17
- お手入れ P18~19



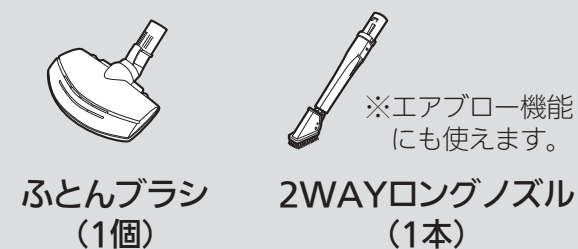
付属品

〈標準付属品〉

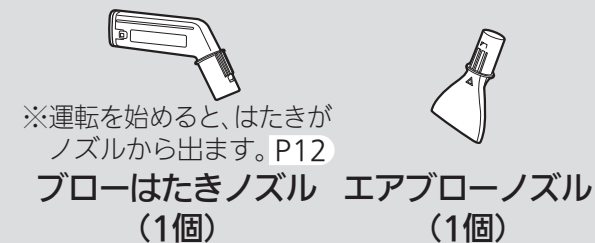


〈応用付属品〉

お掃除場所に合わせてご使用ください。P14~15



エアブロー機能専用



〈サイクロンボックスに装着済み〉



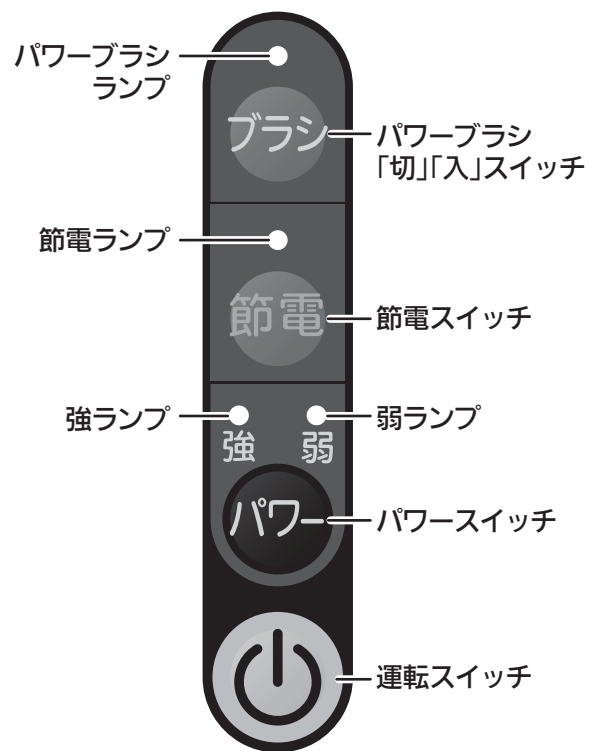
お知らせ

夏場などは本体・ホース・電源コード・電源プラグ・排気が特に熱く感じる場合があります。室温からさらに約30℃熱くなる場合がありますが、異常ではありません。

使
つ
ま
え

お掃除する

操作部



スイッチに、下記形状の凸マークがついています。

- ⌂ : パワーブラシ「切」「入」スイッチ
- ⊖ : 節電スイッチ
- ◇ : パワースイッチ
- : 運転スイッチ

<おすすめの運転モード>

- 強い吸込力で
お掃除したいとき → **強**
- 吸込力を抑えて
お掃除したいとき
●フローリング・たたみ
などをお掃除したいとき
●運転音を抑えて
お掃除したいとき → **弱**
- パワーブラシの回転音
が気になるとき → **パワーブラシ
回転「切」**
- 節電したいとき → **節電モード
「入」**

1

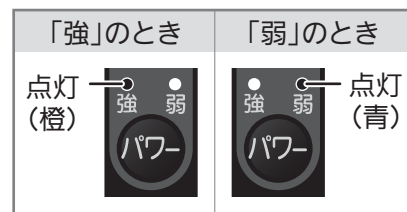
<準備>電源プラグをコンセントに差し込む →ゴミ量確認 運転を始める

● 運転スイッチを押す ● 前回の運転モード(節電モード
前回の運転モードで運転を始

- 「パワー」スイッチまたは「節電」スイッチを押しても運転
- 「パワー」スイッチを押すと、節電モード「切」、吸込力「強」
- 「節電」スイッチを押すと、節電モード「入」、吸込力「強」

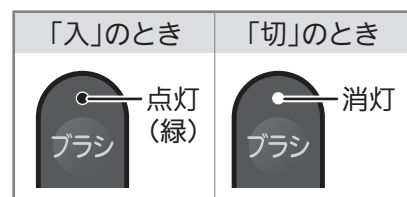
● 吸込力を変えるとき

● パワーを押す ● 押すごとに、「強」「弱」が切り替わります。



● パワーブラシの回転を止めるとき

● ブラシを押す ● 押すごとに、パワーブラシの回転を
「切」「入」します。
● 回転「入」にしている時、床面からブラシ
を浮かせると回転を停止します。



- じゅうたん・たたみ・フローリングなどの種類
にかかわらず、パワーブラシが回転した状態
でお使いいただけます。
- 運転開始時は、パワーブラシ回転「入」で運転
します。
- パワーブラシを取りつけていないときも
パワーブラシランプが点灯します。

2

運転を止める

● 運転スイッチを押す

LEDが点灯します。 P16

「入」「切」、吸込力「強」「弱」を記憶しているため、
めます。(コンセントを抜き差ししても記憶はリセットされません)

を始められます。(前回の運転モードは記憶していません)
で運転を始めます。
で運転を始めます。

● 節電モードでお掃除するとき

● 節電を押す ● 押すごとに、節電モードを「入」「切」します。

「切」のとき	「入」のとき			
	掃除中		中断時	
● 消灯 節電	「強」のとき ● ● 点灯 (緑) 強 弱 節電	「弱」のとき ● ● 点灯 (緑) 強 弱 節電	「強」のとき ● ● ゆっくり 点滅 (橙) ● ● 強 弱 節電	「弱」のとき ● ● ゆっくり 点滅 (青) ● ● 強 弱 節電

節電モードについて

- 手元パイプの動きを検知し、お掃除を中断・再開したときなどに、自動的にパワーを
コントロールします。
- お掃除中、手元パイプを早く動かすと自動的にパワーアップします。
- お掃除を中断するとパワーダウンし、パワーブラシの回転が止まります。
そのまま約30秒経過すると、自動的に運転が止まり、操作部のランプが全て消灯します。
- 再度運転するときには、「運転」スイッチ、「パワー」スイッチ、「節電」スイッチのいずれかを押してください。



スマートセーブ

自動的にパワーアップ



手元を
早く動かす
←
→
手元を
ゆっくり動かす

お掃除中



お掃除を
中断する
→
←
お掃除を
始める

自動的にパワーダウン



パワーダウン時は
パワーブラシの
回転が止まります。

スマートオフ

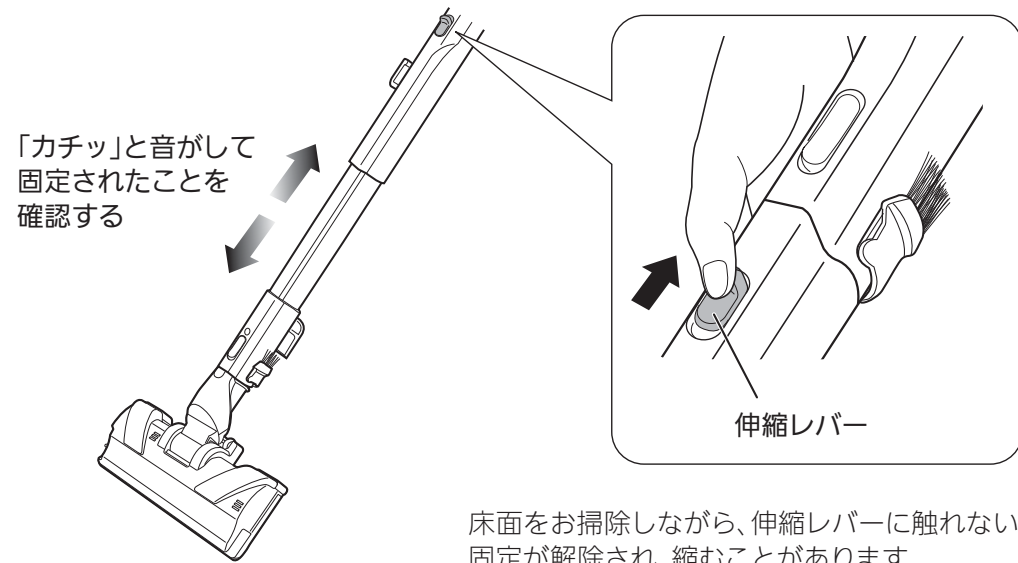
パワーダウン後、約30秒経過すると、自動的に運転が止まります。

自動的にパワーをコントロール
するため運転音が変わりますが、
故障ではありません。

お掃除する(つづき)

伸縮パイプの長さ調節

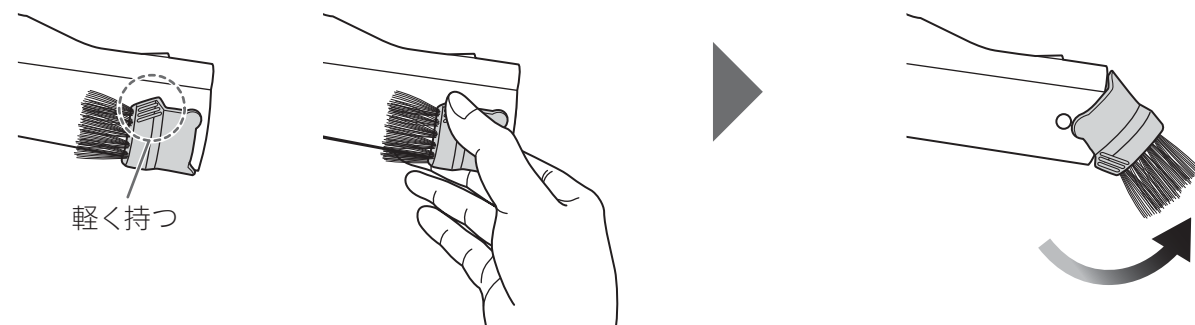
伸縮レバーを手前に引きながら、長さを調節する



床面をお掃除しながら、伸縮レバーに触れないでください。固定が解除され、縮むことがあります。

すみずみブラシの使いかた

①伸縮パイプ、またはパワーブラシをはずし、すみずみブラシを起こす



②使い終わったら逆の順序で元に戻す

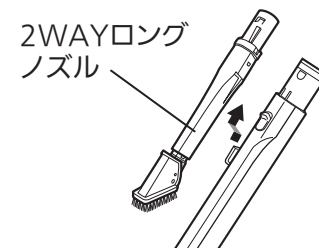
- 手元パイプ(特に吸込口下側)・伸縮パイプ(吸込口下側やストッパー)で、床面や家具などをこすらないようにしてください。
- ピアノなどの光沢のあるところには使わないでください。

2WAYロングノズルの使いかた

- 掃除場所に合わせて、毛ブラシの向きを2通りにかえてお掃除できます。
- 伸縮時や毛ブラシの向きをかえるときは、指をはさまないように気をつけてください。

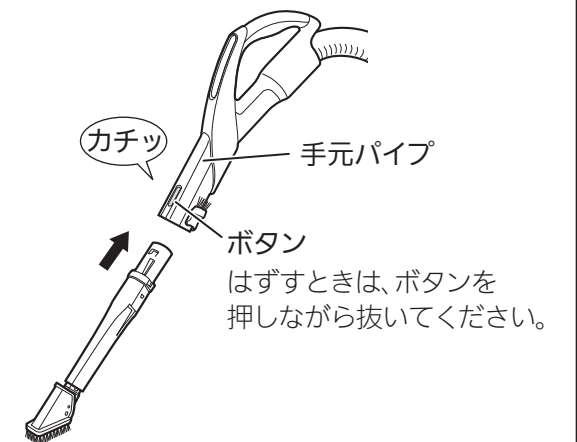
■取りはずしかた

2WAYロングノズルを軽くひねりながら引き抜く



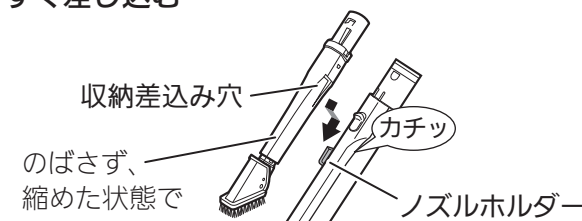
■取りつけかた

手元パイプ、または伸縮パイプに取りつける



■収納のしかた

収納差込み穴に、ノズルホルダーをまっすぐ差し込む



■使いかた

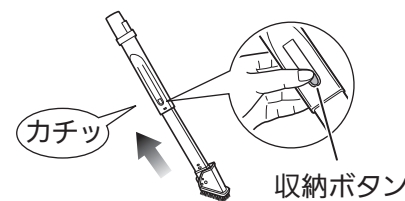
<伸縮のしかた>

- 毛ブラシを持つてのばす



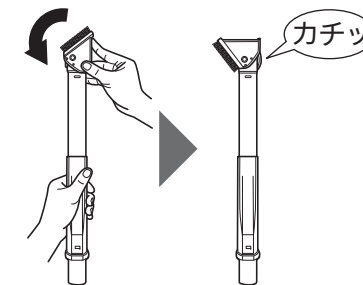
のばすと収納ボタンが出てきます。

- 毛ブラシを持って、収納ボタンを押しながら縮める

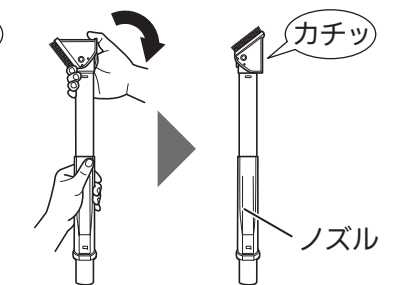


<毛ブラシの向きのかえかた>

- 向きをかえる



- 元に戻す



必ずノズルをのばしてから毛ブラシの向きをかえてください。

おねがい

- 必ず毛ブラシをつけて、ご使用ください。
- 毛ブラシがはずれた場合は P24 を参照して取りつけてください。

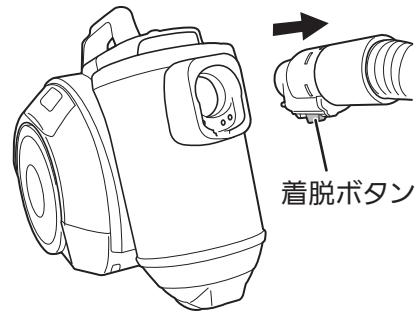
使いかた

エアブロー機能を使う

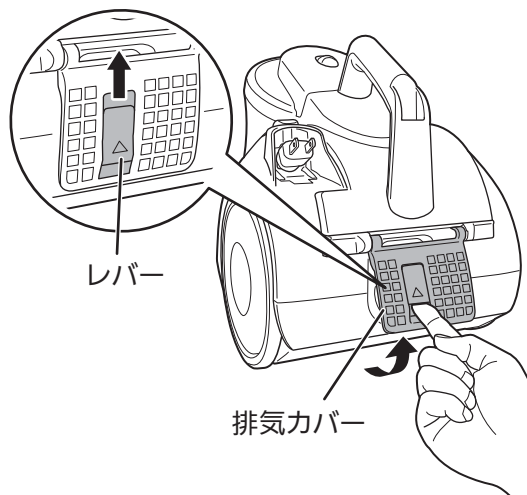
ブローはたきノズル・エアブローノズルは、エアブロー機能専用です。吸引に使用しないでください。

運転を停止してから、ホースの差し換え・ノズルのつけ換えをしてください。

1 着脱ボタンを押しながらホースをはずす

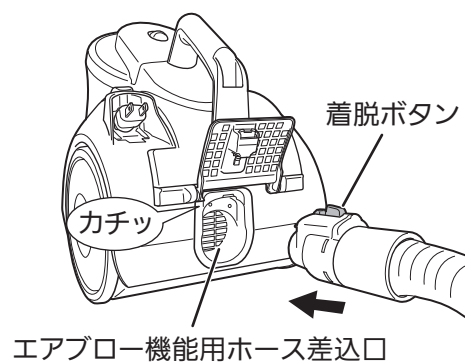


2 レバーを上げながら排気カバーを開く

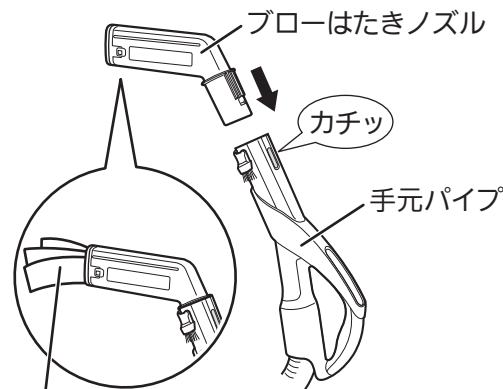


3 着脱ボタンを上に向けて、エアブロー機能用ホース差込口にホースを差し込む

(ホース・伸縮パイプは通常のお掃除のものと共用です)



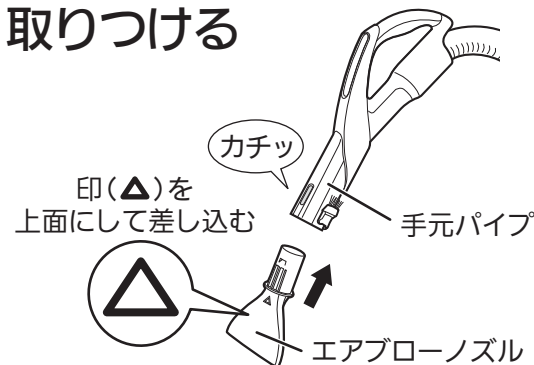
4 ■ブローはたきノズルを使う 手元パイプ、または伸縮パイプにブローはたきノズルを取りつける



- 運転を始めると、はたきがノズルから出ます。
- 運転を止めると、はたきがノズルに戻ります。

はたきが振動するため、振動音が出ます。気になる場合は、「弱」でご使用ください。

■エアブローノズルを使う 手元パイプ、または伸縮パイプにエアブローノズルを取りつける



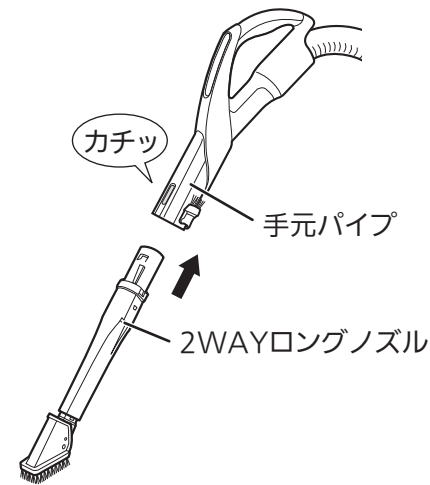
■収納のしかた

ノズルホルダーにエアブローノズルをまっすぐ差し込む

ノズルホルダー カチッ

- 2WAYロングノズルが取り付けられているときは収納できません。P6

4 ■2WAYロングノズルを使う 手元パイプ、または伸縮パイプに2WAYロングノズルを取りつける



ブローはたきノズル・エアブローノズル・2WAYロングノズル以外は取り付けられないでください。

5 運転を始める



- 吹出風「強」、節電モード「切」で運転を始めます。
- 「パワー」スイッチまたは「節電」スイッチを押しても運転を始めます。
- 「パワー」スイッチを押すごとに、吹出風の「強」「弱」が切り替わります。

<節電モード「入」のとき>

手元パイプの動きが停止すると吹出風が自動で弱くなります。そのまま約30秒経過すると、自動的に運転が停止します。吹出風が自動で弱くなった状態で、手元パイプを動かすと元の吹出風の強さに戻ります。

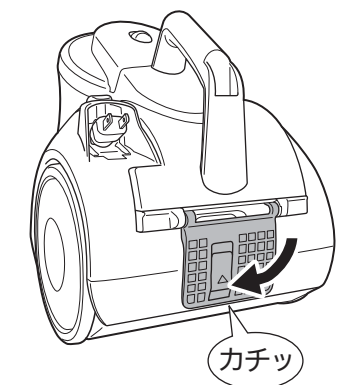
<節電モード「切」のとき>

手元パイプの動きが停止して約30秒経過すると、自動的に運転を停止します。

6 運転を止める



7 着脱ボタンを押しながらホースをはずし、排気カバーを確実に閉じる



おまかせ

- ホース差込口から吸引しています。エアブロー機能使用時は、身につけている衣類などが吸込まれないように気をつけてください。
- サイクロンボックス・クリーンカートリッジを必ず取りつけて、エアブロー機能を使ってください。[電源コードが熱くなる原因]
- エアブロー機能を使うとホコリが舞い上がる場合があります。必要に応じて窓を開けたり、マスクを着用したりしてください。エアブロー機能で掃き出したホコリやゴミは、掃除機で吸い取ってください。
- ブローはたきノズルで、こわれやすい物をお掃除しないでください。
- ノズルホルダーに収納したエアブローノズルで、床面や家具などをこすらないように気をつけてください。

お知らせ

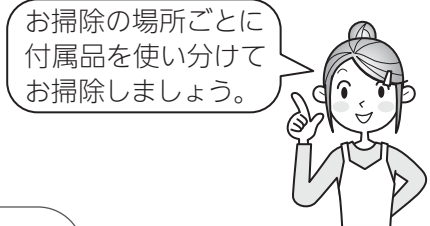
- こびりついた汚れは取れないことがあります。
- モーターを冷却した空気を利用しているため暖かい風が出ます。そのため、手元パイプやホースが熱くなる場合があります。

使いかた

上手なお掃除

お部屋を整頓してから掃除機をかけると、手際よくお掃除でき、電気のムダを省けます。

- 手元パイプのサブグリップを持って高いところや階段・卓上などのお掃除をすると、楽に操作できます。必要に応じてメイングリップとサブグリップを持ち替えて使ってください。P6
- デリケートな家具やピアノなどの光沢のあるところには使わないでください。
- ストッパーで床面や家具などをこすらないように気をつけてください。
- エアブロー機能を活用すると、パワーブラシが入らない狭い場所のホコリやゴミなどを掃き出して取り除くことができます。P12~13



寝具
手元パイプまたは伸縮パイプに取りつけて

● ふとんブラシ

ブラインド
エアブロー機能でホコリを掃き出す

● ブローはたきノズル

パソコンのキーボード・机の上など

● すみずみブラシ

高いところ

● 2WAYロングノズル
● すみずみブラシ

パワーブラシが入らない狭いところ
エアブロー機能でホコリやゴミを掃き出す

● 2WAYロングノズル
● エアブローノズル

カーテンレールやサッシレールなど
ゆっくり動かしながら吸う

● 2WAYロングノズル
● すみずみブラシ

または、エアブロー機能でホコリを掃き出す

● 2WAYロングノズル
● ブローはたきノズル

家具の下
手元パイプはひねらず下げる

● パワーブラシ ● ストッパー

家具や家具などのすき間

● 2WAYロングノズル
● すみずみブラシ

じゅうたん・たたみ・フローリング
ゆっくり、目にそってかける

● パワーブラシ

壁ぎわ
パワーブラシを軽く押しつけ、壁ぎわにそって動かす

● パワーブラシ

＜パワーブラシについて＞

- 床面にゆっくり置いてください。落とすように置くと、回転ブラシが回転しないことがあります。
- 同じ場所をくり返しお掃除しないでください。
- パワーブラシは押しつけず、たたみの目やフローリングの目に沿ってゆっくり動かしてください。
〔車輪などで床面に跡がつく原因〕
(特にクッションフロアやひのき・杉などのデリケートな床面)

お知らせ

- 新しいじゅうたんは、初めのうち「遊び毛」が抜けます。
- 床用ワックスなどをご使用の場合、塗布面に跡がついたり、こすれて光沢に差が出たりすることがあります。
- お掃除中は、テレビ画面にノイズが発生することがあります。(テレビ本体に影響はありません)
- パワーブラシを砂ゴミの上で使うと、床面に跡がつくことがあります。
- パワーブラシと伸縮パイプの角度によっては、パワーブラシから風切音が出る場合がありますが、異常ではありません。
- 床面によっては、パワーブラシからこすれるような音(キュッキュッ)がする場合がありますが、異常ではありません。

注意

禁止

- 車輪・回転ストッパー・ふきブラシ・フェルト部などが摩耗したまま使わない
- 車輪などに髪の毛などがからみついたまま使わない
〔床面などに傷がつく原因〕
- 強くなめめに引きずったり、壁・床面などに強く押しあてたりしない
〔床面や家具などに傷がつく原因〕

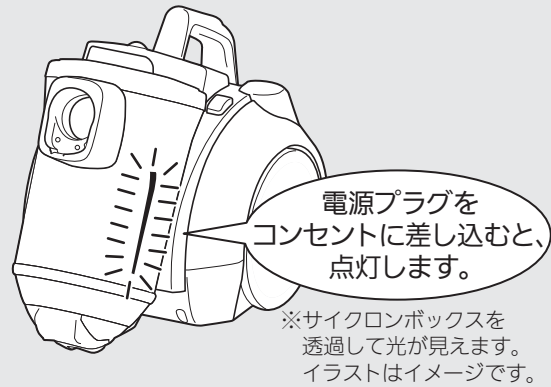
使いかた

ゴミをすてる

お掃除ごとのゴミすてをおすすめします。



ゴミ量確認LEDが
ゴミで見えなくなる前に、
必ずゴミをすててください。

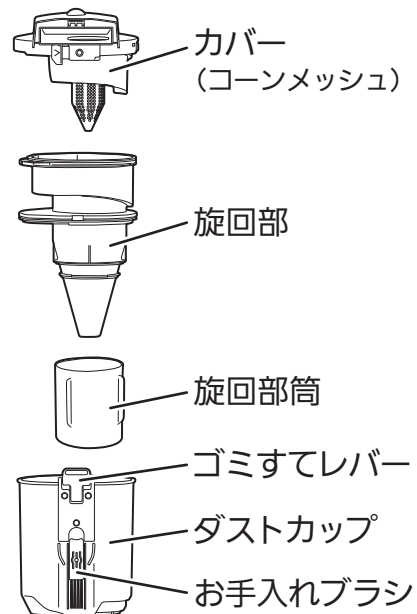


ゴミの種類により、ゴミのたまる位置が異なります。

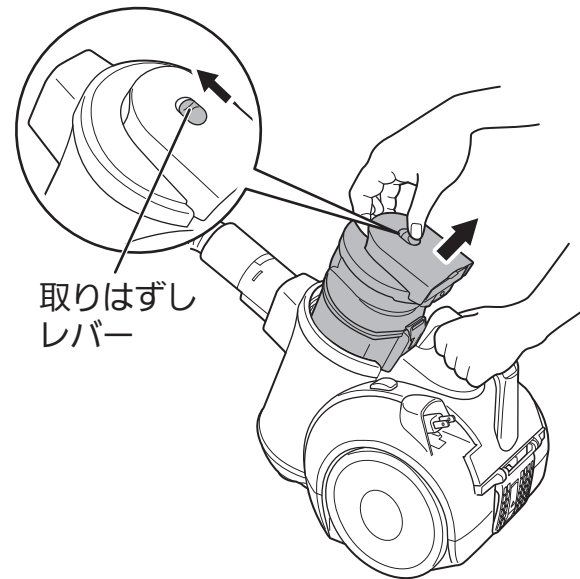
ゴミ量確認LEDがゴミで見えなくなっても、
ゴミを吸い続けた場合

- 吸込力が低下する原因になります。
- サイクロンボックスのお手入れが必要になります。P18~19
- クリーンカートリッジのお手入れが必要になります。P23

サイクロンボックス

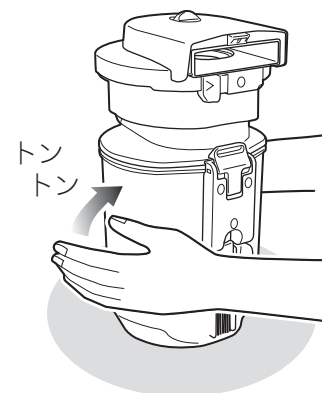


1 取りはずしレバーを引きながら サイクロンボックスを取り出す



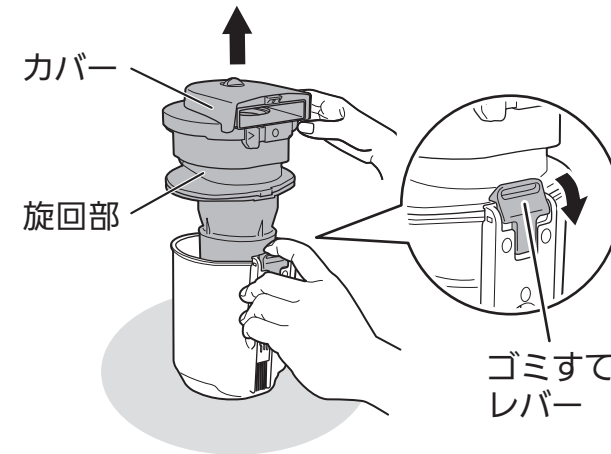
サイクロンボックスを取出した後、
本体内部にゴミが落ちている場合は
ふき取ってください。

2 サイクロンボックスを 軽くたたく



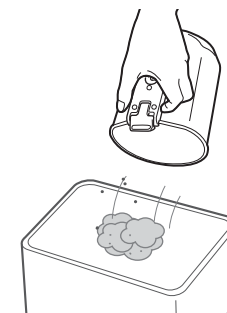
サイクロンボックスの内壁についた
ホコリが落ちます。

3 ゴミすてレバーを引きながら カバー・旋回部をはずす

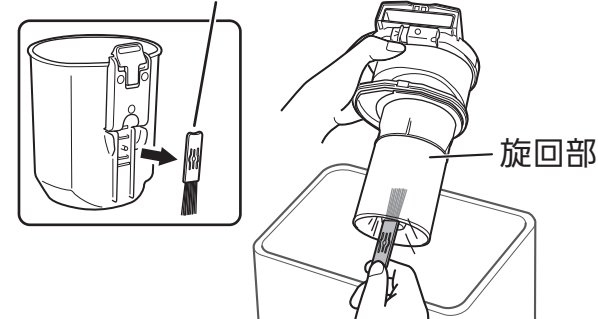


旋回部をはずしたときは、必ずゴミをすてて
ください。
[クリーンカートリッジにゴミが付着する原因]

4 ゴミをすてる

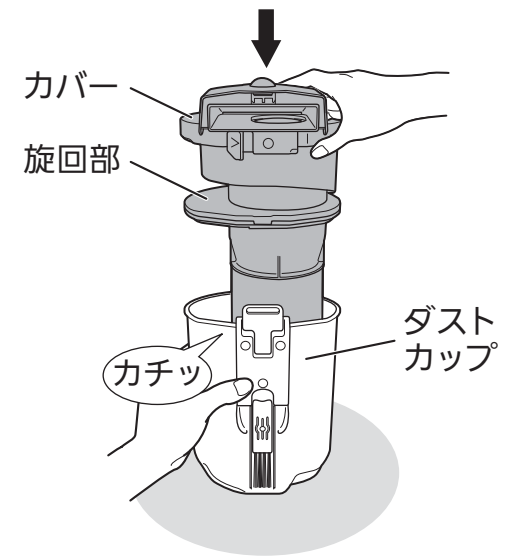


付属のお手入れブラシでゴミを落とす
(付属のブラシ以外は使わない)



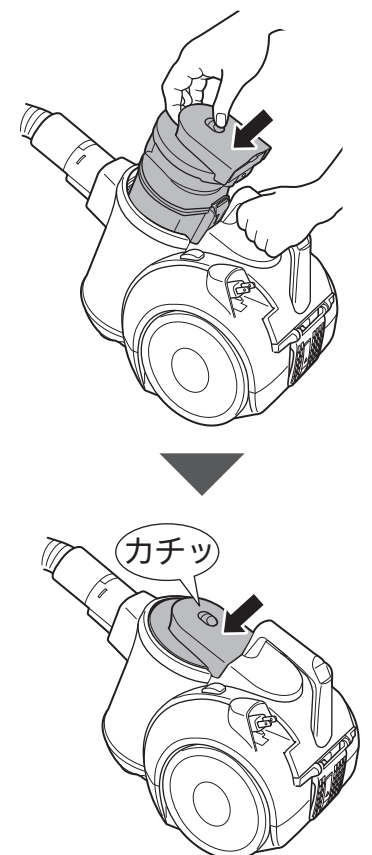
旋回部にゴミが残っている場合は、
お手入れしてください。P18~19

5 カバー・旋回部を ダストカップに 確実に取りつける



6 サイクロンボックスを 確実に取りつける

イラストの向きで取りつける
(カチッと音がするまで入れる)



サイクロンボックス部分での集塵率は約99.9%*です。残りの微細なゴミは、
モーターの保護用に設けてあるクリーンカートリッジに付着します。

*日本電機工業会自主基準ゴミによる、
分離前後のゴミを比較(分離率 99.9%
以上)。環境や使い方によって異なります。

使いかた

お手入れ

サイクロンボックス

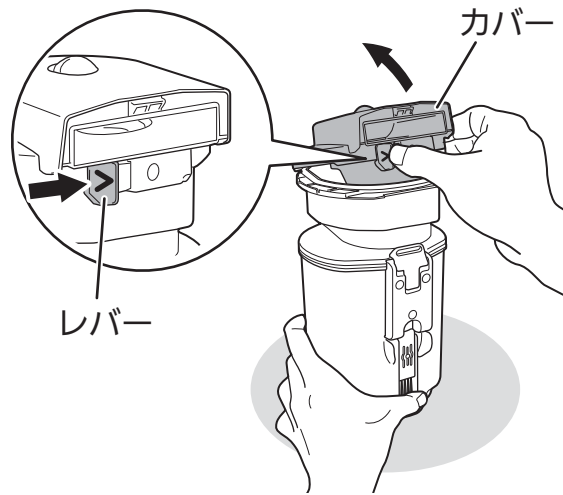


サイクロンボックスの部品は
全て水洗いできます。

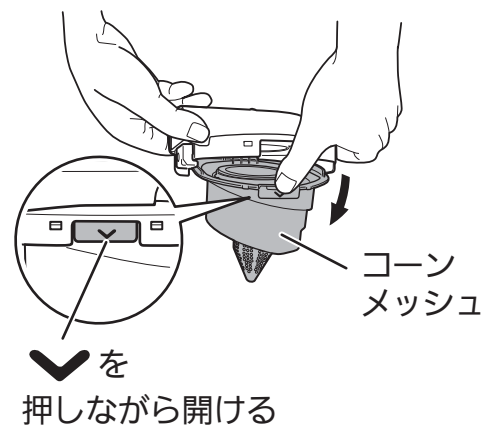
■汚れが気になったとき、または2カ月に1回程度お手入れしてください。

●新聞紙などの上に置いて、サイクロンボックスを各部に分けてください。

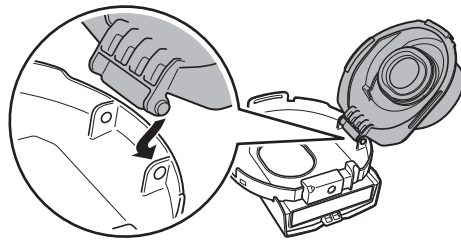
1 レバーを押しながら カバーをはずす



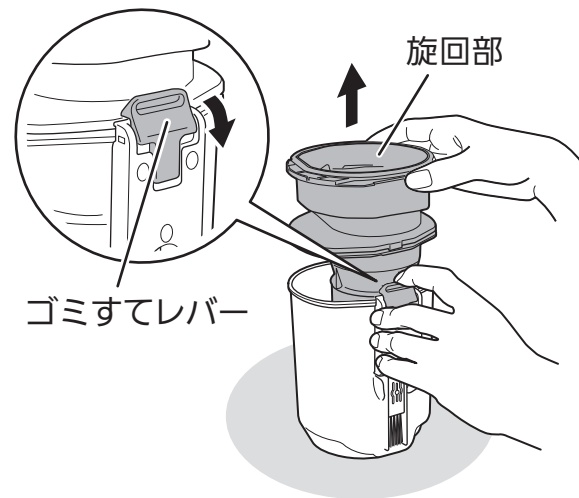
<コーンメッシュの開けかた>



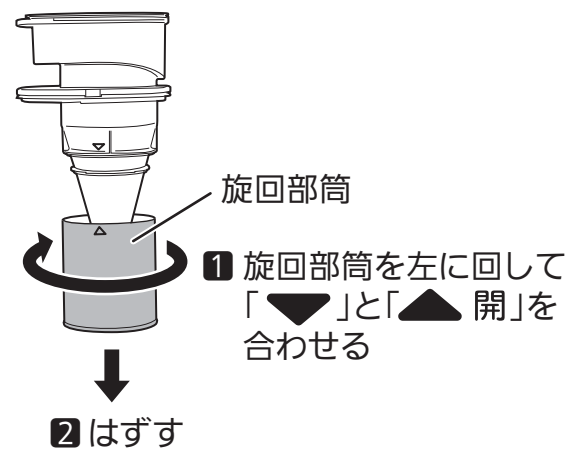
■コーンメッシュがはずれたときは
コーンメッシュの突起の片方をカバーの
穴に取りつけてから、もう片方を入れる



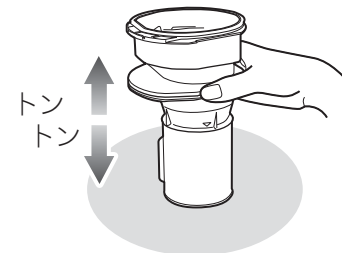
2 ゴミすてレバーを引きながら 回転部をはずす



<回転部筒のはずしかた>



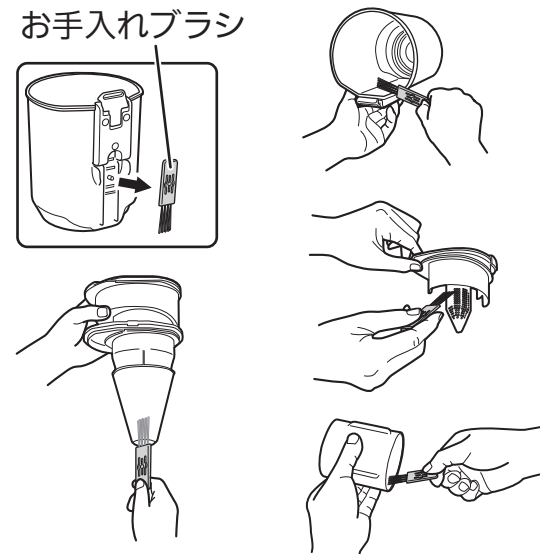
■はずしにくいときは軽くたたく



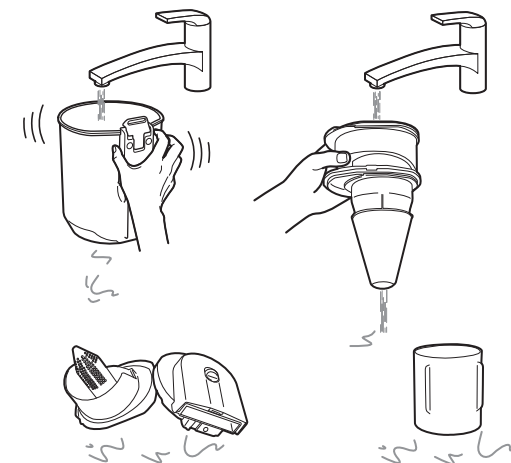
砂ゴミなどが落ちて、はずしやすくなります。

3 お手入れブラシでゴミを 落とし、流水で洗う

①付属のお手入れブラシでゴミを落とす
(付属のブラシ以外は使わない)



②流水で洗い、陰干しで十分に乾燥させる
(十分に乾燥させないと、故障やにおいの原因になります)

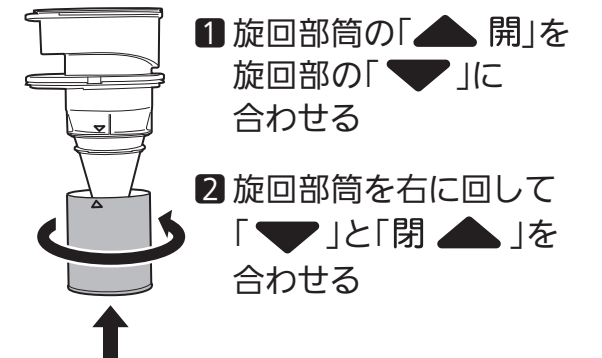


おながい

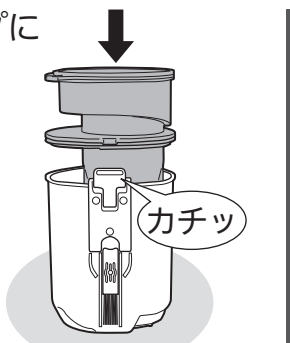
●洗剤・漂白剤・ベンジン・シンナー・アル
コール・たわしなどは使わないでください。
●お湯で洗ったり、つけ置き洗いをしたり
しないでください。
●暖房器具やドライヤーで乾燥しないで
ください。
[ヒビ割れや変形・変色の原因]

4 組み立てる

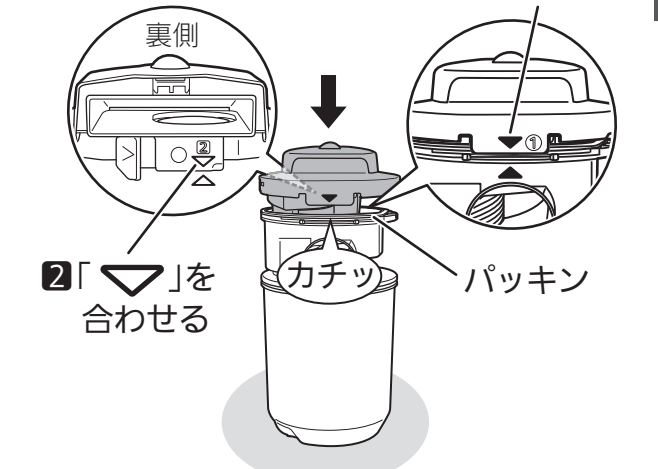
①回転部筒を回転部に取りつける



②回転部をダストカップに
取りつける



③コーンメッシュを戻し、
カバーを取りつける



おながい
パッキンがはずれたときは、取りつけて
ください。

お手入れブラシは消耗部品です。
摩耗したら交換してください。P31

お手入れ

パワーブラシ



パワーブラシ本体は水洗いできません。
(回転ブラシのみ水洗いできます)

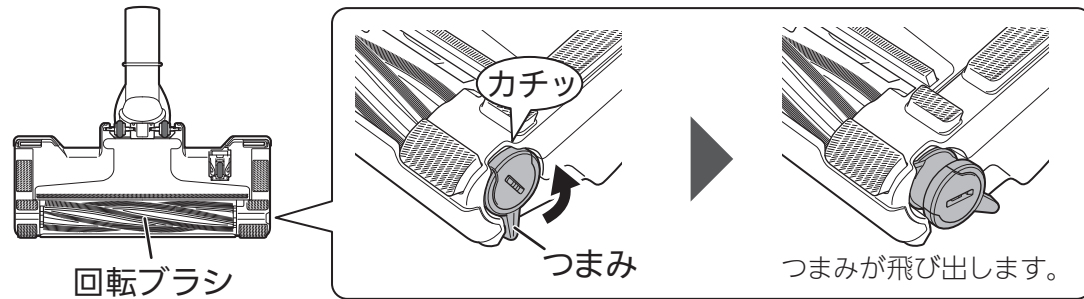
ゴミを吸いにくくなったときや
操作しにくくなったときも
お手入れしましょう!



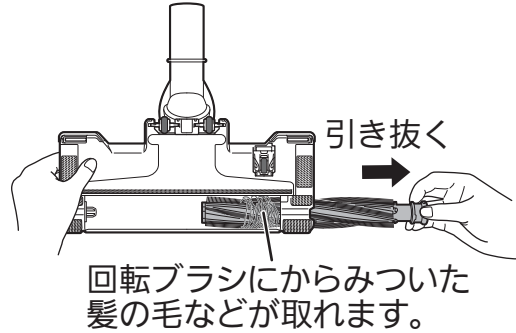
■お掃除ごとのお手入れをおすすめします。

1 回転ブラシをはずす ※必ず伸縮パイプからはずして、お手入れしてください。

①つまみを矢印方向に回し、回転ブラシのロックをはずす



②つまみを持って、回転ブラシを引き抜く



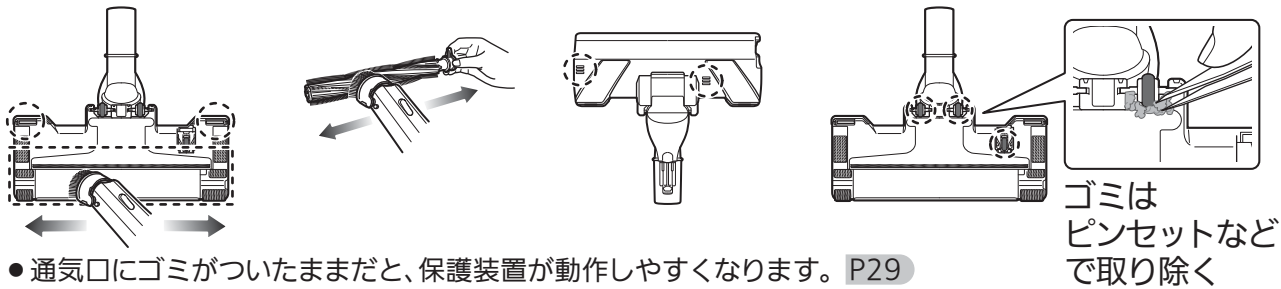
おねがい

- からみついた髪の毛などで回転ブラシが引き抜きにくい場合は、ハサミで切ってください。
- 回転ブラシをむりやり引き抜かないでください。〔故障の原因〕

回転ブラシの植毛を切らないようにしてください。

2 すみずみブラシでお掃除する P10

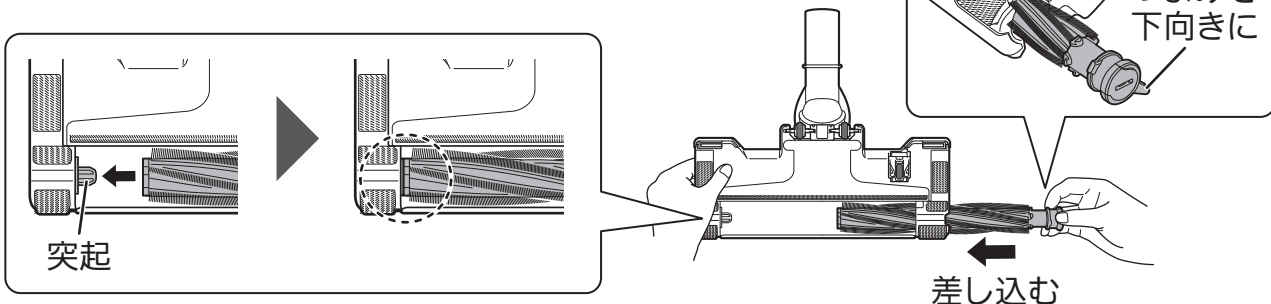
〈パワーブラシ裏面〉 〈回転ブラシ〉 〈通気口〉 〈車輪(2カ所)・回転ストッパー〉



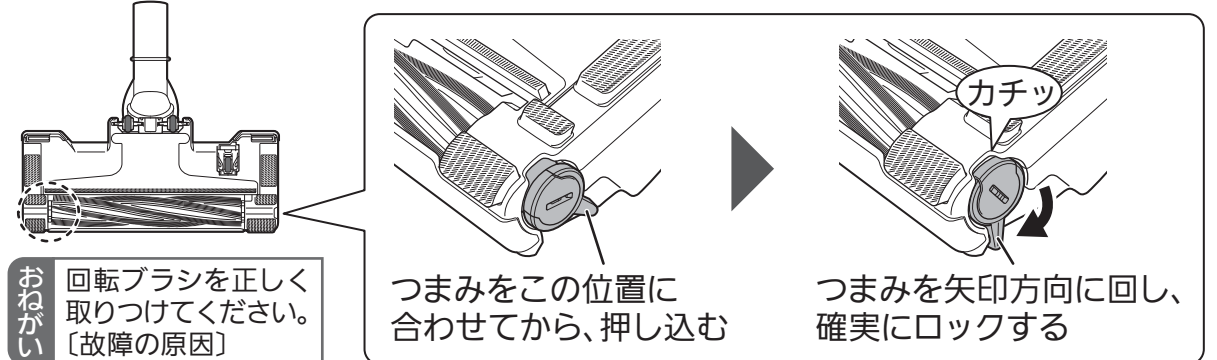
• 通気口にゴミがついたままだと、保護装置が動作しやすくなります。P29

3 回転ブラシを取りつける

①つまみを下向きにして、回転ブラシの先端を突起に差し込む

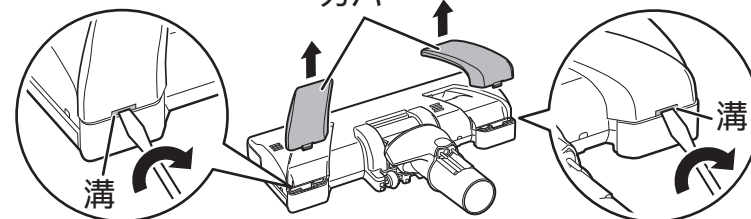


3 ②回転ブラシの先端が突起に取りつけられていることを確認し、つまみをロックする



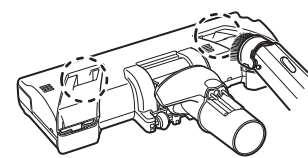
■サイド吸引の吸込力が弱くなったとき(半年に1回程度) 下記の手順でお手入れしてください。

①マイナスドライバーを溝に入れて回し、カバーをはずす

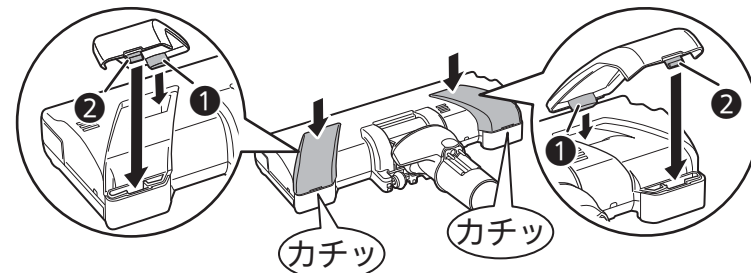


• マイナスドライバーの取扱いに気をつけてください。

②すみずみブラシでお掃除する P10



③①のツメを入れてから、②のツメを押し込んで、カバーを取りつける

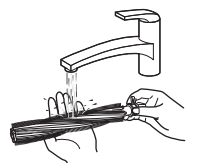


おねがい 必ずカバーを取りつけて、ご使用ください。

■汚れが気になったとき

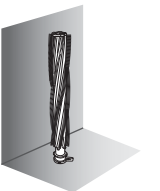
回転ブラシをお手入れする

①水で洗う



②5回以上振って、よく水を切る

③つまみ側を下に向け、陰干しで約1日乾かす



おねがい

- 洗剤・漂白剤などは使わないでください。
- 暖房器具・ドライヤーなどで乾燥しないでください。
- 回転ブラシに注油しないでください。〔変形・変色・故障の原因〕

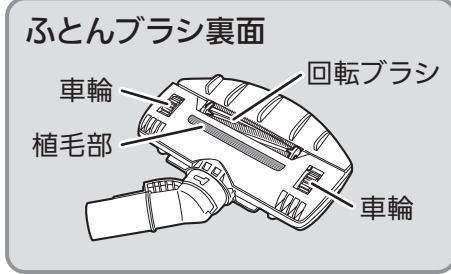
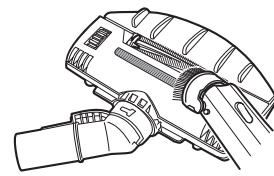
• 回転ブラシは消耗部品です。摩耗したら交換してください。P31
• 車輪・ふきブラシ・フェルト部が摩耗したら、部品交換が必要となります(有料)。その際は、ブラシをお預かりしての修理になります。お買上げの販売店にご連絡ください。

お手入れ(つづき)

ふとんブラシ 水洗い可

■ふだんのお手入れ

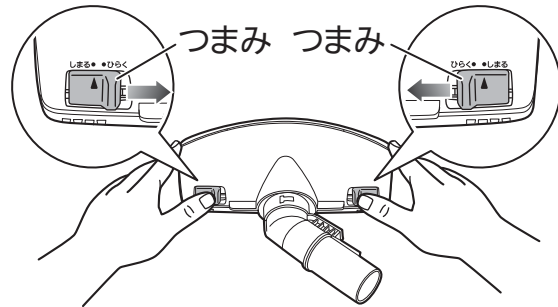
裏面全体のホコリやゴミを吸い取る



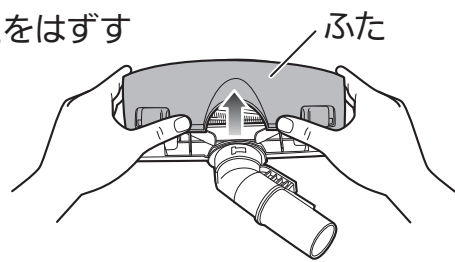
■汚れが気になったとき

1 ふたをはずす

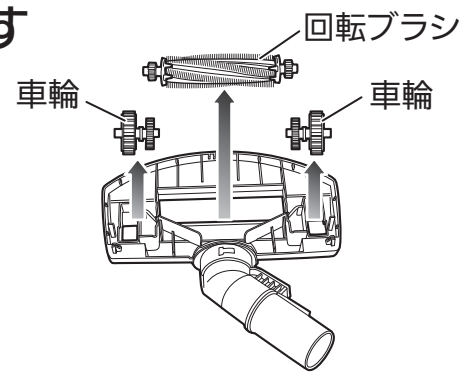
①つまみを「ひらく」までスライドさせる



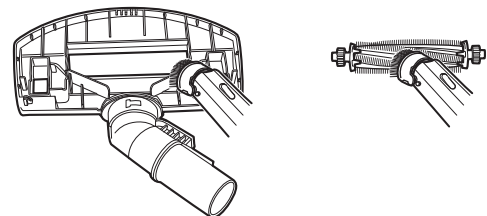
②ふたをはずす



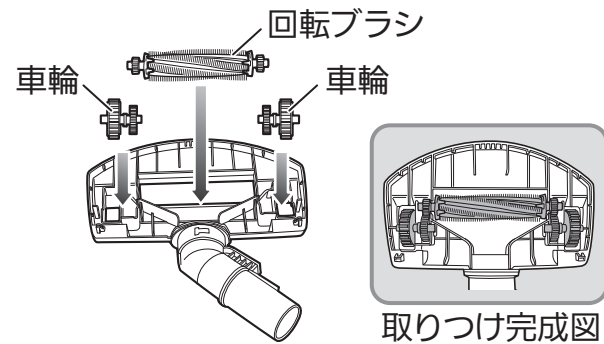
2 回転ブラシ・車輪(2個)をはずす



3 ゴミを吸い取る

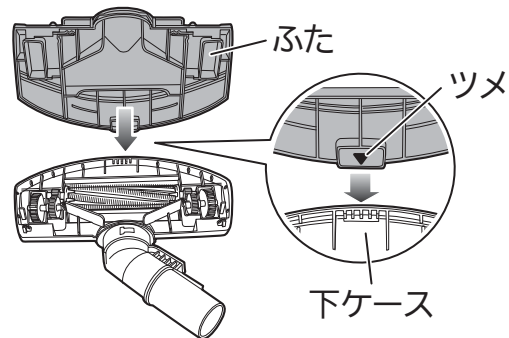


4 回転ブラシ・車輪(2個)を取りつける

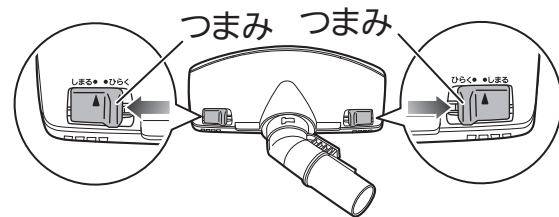


5 ふたを取りつける

①下ケース中央部にふたのツメ(▼)を入れてから、ふたを取りつける



②つまみを「しめる」まで確実に戻す

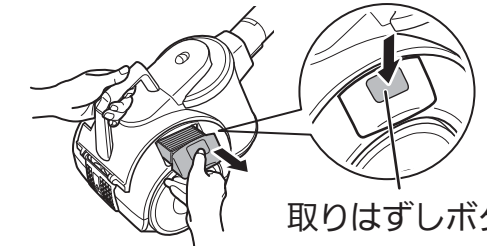


おねがい 前側にすき間があいていないかご確認ください。すき間がある場合は、確実に取りつけてください。[吸込力が弱くなる原因]

クリーンカートリッジ 水洗い可

■汚れが気になったとき (吸込力が弱くなったとき)

1 取りはずしボタンを押しながらクリーンカートリッジを引き出す

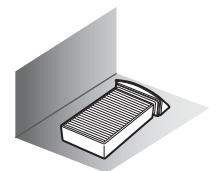


2 流水で洗い、十分に乾燥させる (十分に乾燥させないと、故障やにおいの原因になります)

①たたいてホコリを落とす ②汚れが出なくなるまで流水で洗い、陰干しで十分に乾燥させる

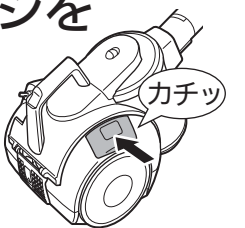


取りはずしボタンがある面を下に向ける



- おねがい**
- 洗剤・漂白剤などは使わないでください。
 - お湯で洗ったり、つけ置き洗いをしたりしないでください。
 - たわし・歯ブラシなどで洗ったり、暖房器具やドライヤーで乾燥したりしないでください。[変形・変色・破損の原因]

3 クリーンカートリッジを取りつける



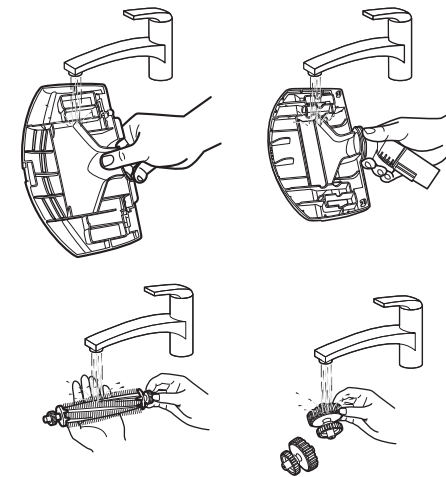
- お手入れ後、必ず本体に取りつけてください。**
- クリーンカートリッジが取り付けられていないと、吸込めなくなります。正しく取り付けてください。
 - ホコリがモーターに入り、故障の原因になります。

■それでも汚れが気になったとき

各部品を流水で洗い、陰干しで十分に乾燥させる

(十分に乾燥させないと、ふとんが濡れる原因になります)

①水で洗う



②5回以上振って、よく水を切り、軽くふく

③陰干しで約1日乾かす

- おねがい**
- ふとんブラシは、必ず分解してから水洗いしてください。[ふとんブラシ内部に水が残る原因]
 - 洗剤・漂白剤などは使わないでください。
 - 暖房器具・ドライヤーなどで乾燥しないでください。
 - 回転ブラシ・車輪に注油しないでください。[変形・変色・故障の原因]


- ふとんブラシの回転ブラシと車輪は消耗部品です。摩耗したら交換してください。 P31
- ふとんブラシの植毛部が摩耗したら、部品交換が必要となります(有料)。その際は、ブラシをお預かりしての修理になります。お買上げの販売店にご連絡ください。
- クリーンカートリッジは消耗部品です。消耗したら交換してください。 P31

お手入れ(つづき)

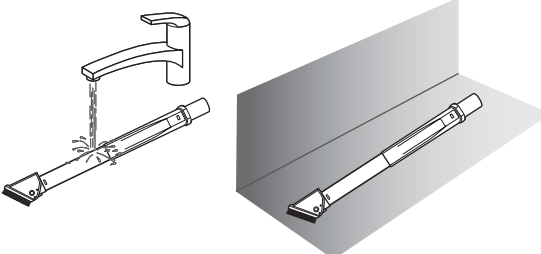
2WAYロングノズル 水洗い可

■汚れが気になったとき

1 からみついたゴミをとる
 吸いながら、ようじなどを使って取る




2 水洗いし、陰干しで十分に乾燥させる



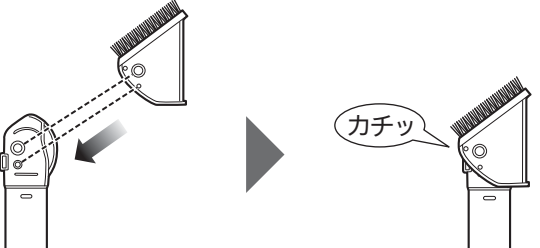
●毛ブラシを交換するとき P31

①2WAYロングノズルをのばす P11

②毛ブラシを回す ③毛ブラシをはずす



●毛ブラシの取り付けかた
 毛ブラシをノズルの突起に合わせて、差し込む



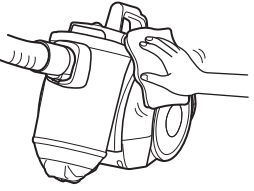
おねがい

- 洗剤・漂白剤などは使わないでください。
- 暖房器具・ドライヤーなどで乾燥しないでください。[変形・変色・故障の原因]

本体 水洗い不可

■汚れが気になったとき

水ぶきする
 かたくしぼった柔らかい布でふく



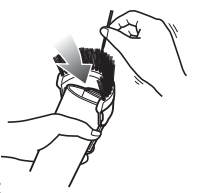
おねがい

アルコール・シンナー・ベンジンなどでふかないでください。
 [変質や変色の原因]

すみずみブラシ 水洗い不可

■汚れが気になったとき

からみついたゴミをとる
 吸いながら、ようじなどを使って取る



エアブローノズル 水洗い可

■汚れが気になったとき

水洗いし、陰干しで十分に乾燥させる



●2WAYロングノズルの毛ブラシ・すみずみブラシは消耗部品です。摩耗したら交換してください。P31

●すみずみブラシは、消耗部品に同梱の説明書にしたがって交換(着脱)してください。

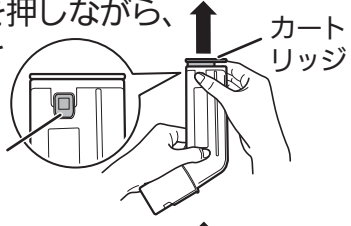
ブローはたきノズル 水洗い可

水洗いするときは、必ず分解してください。

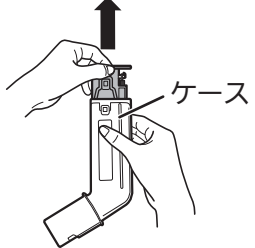
■汚れが気になったとき

1 カートリッジを引き出す

①両側のボタンを押しながら、カートリッジを押し出す

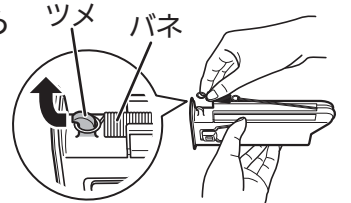


②カートリッジをケースから引き出す




2 カートリッジからはたきを取り出す

①バネをツメからはずす

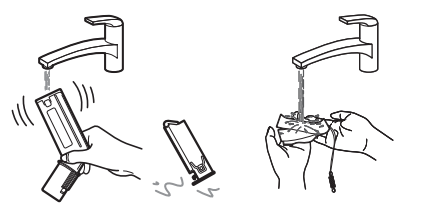


②はたきを取り出す

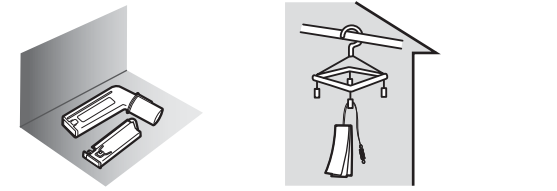


3 水洗いし、陰干しで十分に乾燥させる
 (十分に乾燥させないと、故障やにおいの原因になります)

①水で洗う

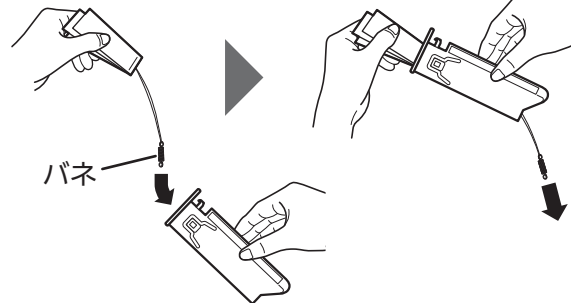


②よく水を切り、陰干しで約1日乾かす

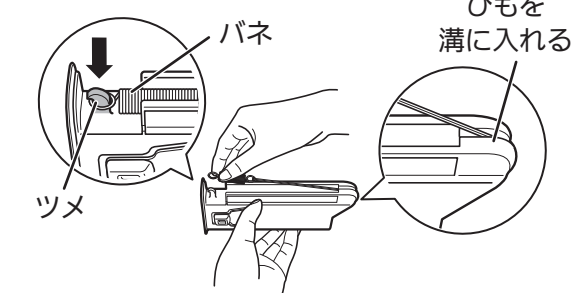


4 はたきをカートリッジに取りつける

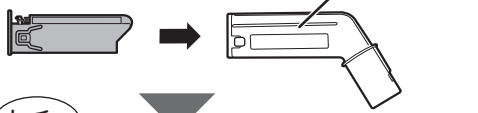
①バネ側をカートリッジの中に通す



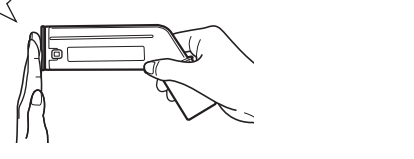
②ひもを溝に入れてからバネをツメにかける



5 カートリッジをケースに取りつける



カチッ



手を挟まないように気をつけてください。

おねがい

- 洗剤・漂白剤などは使わないでください。
- お湯で洗ったり、つけおき洗いをしたりしないでください。
- 洗濯機で洗ったり、暖房器具・ドライヤーなどで乾燥したりしないでください。[変形・変色・ちぢみの原因]
- 水洗いすると色落ちする場合があります。他の物と分けて洗ってください。
- バネやひもを無理に引っ張らないでください。[変形・故障の原因]

ブローはたきノズルのはたきは、消耗部品です。摩耗したら交換してください。P31

お手入れ

収納する

注意

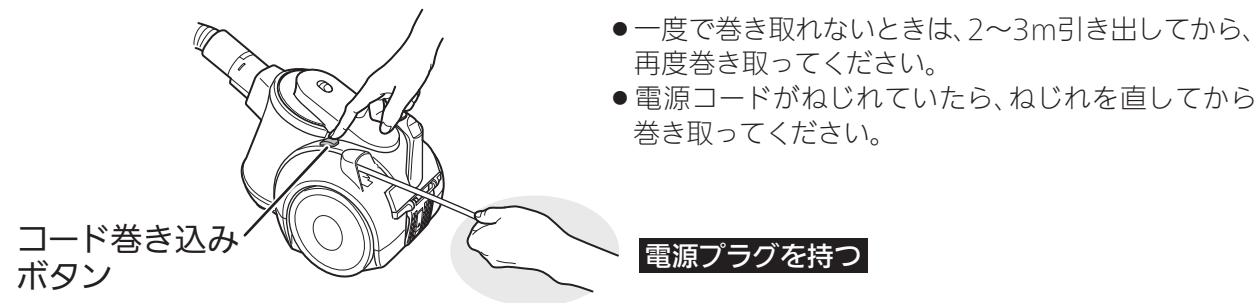
電源コードは電源プラグを持って抜く
〔感電やショートして発火・火災に至る原因〕

電源コードを引っ張らない

- 安定の良い床面で収納してください。また、倒れたときに周囲の物が破損しない場所を選んでください。
- ふとんブラシをつけたまま収納しないでください。

1 電源コードを巻き取る

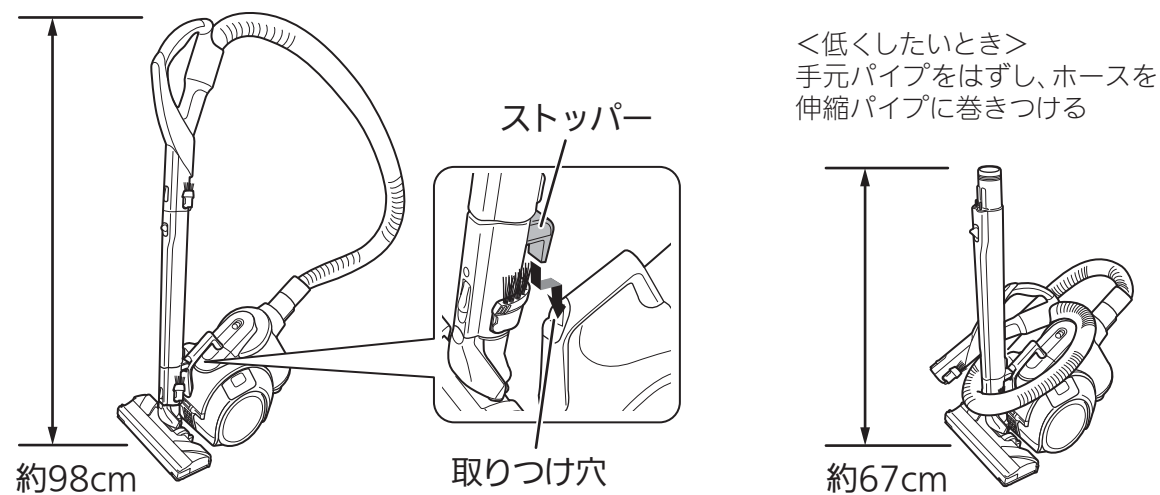
電源プラグを持って、コード巻き込みボタン(Ⓜマーク)を押しながら電源コードを巻き取る



2 伸縮パイプを縮める P10

3 収納する

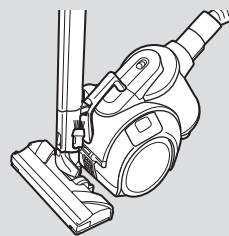
本体の取り付け穴に、伸縮パイプのストッパーを差し込む



- パワーブラシをつけて収納してください。
- 本体を立てた状態では収納できません。

ちょっとその場を離れたいときにも

- その場を離れるときは運転を止めてください。



故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に取扱説明書をよくお読みいただき、次の点をお調べください。

現象(症状)	原因の確認	処置(操作)方法	参照ページ
--------	-------	----------	-------

よくあるお問い合わせ

急に運転が停止した	本体のホース差込口・ホース・伸縮パイプ・パワーブラシにゴミや異物がつまっていませんか。	▶ 本体の保護装置が働いています。お手入れしてください。	P29
	2WAYロングノズルなどの先の細い吸口を長時間使用していませんか。	▶ ブローはたきノズルは、吸引に使用しないでください。	P12~13
	ブローはたきノズルを吸引に使用していませんか。	▶ 吸込口を長時間密閉すると、本体に負担がかかり保護装置が働きます。ふとんや衣類の圧縮袋は使用しないでください。	P29
● 吸込力が弱くなった ● 運転音が大きくなった ● ホースが縮む ● 異音がある	延長コードを使用したり、他の製品と同一のコンセントで使用したりすると、電源電圧が低下し、吸込力が低下する場合があります。	▶ 定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使用してください。	
	サイクロンボックス・クリーンカートリッジを正しく取りつけていますか。	▶ 正しく取りつけてください。	P17~23
	ホース差込口にゴミなどがつまっていませんか。	▶ ホースをはずし、つまっているゴミなどを割りばしなどで取り除いてください。	
	コーンメッシュが目づまりしていませんか。	▶ お手入れしてください。	P18~19
	クリーンカートリッジが目づまりしていませんか。	▶ お手入れしてください。	P23
	ブローはたきノズルを吸引に使用していませんか。	▶ ブローはたきノズルは、吸引に使用しないでください。	P12~13
ホース・伸縮パイプ・2WAYロングノズル・パワーブラシにゴミや異物がつまっていませんか。	▶ ゴミや異物を取り除いてください。		

ホースに異物がつまったときは

<p>点検のしかた ホースを本体からはずし、片側から単3電池などを入れる。</p> <p>反対側から出なければ、異物がつまっています。</p>	<p>吸込力で取り出す</p> <ol style="list-style-type: none"> ① パワーブラシと伸縮パイプをはずす。 ② ホースをまっすぐになるように伸ばし、「強」にする。 ③ 運転しながらホースの手元パイプ部を、手のひらで「ふさぐ」「はなす」の動作を数秒ごとにくり返す。 	<p>細長いものでかき出す</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 針金ハンガーなど、弾力のあるものを伸ばす。 ② ペンチなどを使い、先端を指先程度の幅に被覆ごと曲げる。 ③ 異物を引っかけて取り出す。(ホースジャバラ部を破かないように気をつけてください)
---	---	--

運転しない	電源プラグ・ホースが確実に差し込まれていますか。	▶ 差し込み直してください。	P6~7
	ホースの本体差込口側のピンに、ゴミがついていませんか。	▶ 取り除いてください。	
運転が自動で停止した	節電モード運転中にパワーダウンしたまま約30秒経過すると、自動的に運転が停止します。故障ではありません。	▶ 「運転」スイッチ、「パワー」スイッチ、「節電」スイッチのいずれかを押しと運転します。	P8~9
運転音に変化する・パワーダウンする	節電モード運転中は、手元パイプの動きを検知し、吸込力を自動コントロールするため、運転音に変化します。故障ではありません。パワーダウンしてお掃除がしにくい場合は、「節電モード切」でお使いください。		P8~9

故障かな?と思ったら(つづき)

現象(症状)	原因の確認	処置(操作)方法	参照ページ
パワーブラシの回転ブラシが回らない・回りにくい	パワーブラシが伸縮パイプに確実に差し込まれていますか。	▶ 差し込み直してください。	
	パワーブラシ回転「切」になっていませんか。	▶ パワーブラシ回転「入」にしてください。	P8
	パワーブラシを床面から浮かせていませんか。	▶ 回転ストッパーが働いています。床面につけて動かしてください。	P6
	パワーブラシの車輪にゴミがからみついていませんか。	▶ お手入れしてください。	P20~21
	毛足の長いじゅうたん・凹凸のあるじゅうたんでは、回転ブラシが回りにくくなることがあります。		
	薄いじゅうたんやマットでは、「弱」にしてください。		P8
	回転ブラシに髪の毛・異物がからんでいませんか。	▶ パワーブラシの保護装置が働いています。お手入れしてください。	P20~21・29
	通気口にゴミがたまっていますか。		
電源コードが巻き取れない・引き出せない・ねじれる	電源コードが正常に巻き取られていないときがあります。	▶ (巻き取れないときは2~3mくらい引き出してから)コード巻き込みボタン(Ⓜマーク)を押しながら、少しずつ「巻き取り」「引き出し」をくり返してください。	P26
		▶ 電源コードのねじれを直してから巻き取ってください。	
	回転ブラシを回転させたまま、長時間放置していませんか。		
	パワーブラシを床面やじゅうたんに強く押しつけていませんか。		
特に薄いじゅうたん・毛足の長いじゅうたんをお掃除していませんか。			
回転ブラシを正しく取りつけていますか。	▶ 正しく取りつけてください。	P20~21	
電源プラグを差し込んだとき火花が出る	本体内部の電気部品に充電するための電気が流れるためです。故障ではありません。		
●排気がにおう ●エアブロー機能の吹出風がにおう	サイクロンボックスに、ゴミがたまりすぎていませんか。(食べ物のかす・ペットの毛などがにおう場合もあります)	▶ ゴミをすてて、サイクロンボックスをお手入れしてください。	P16~19
	使い始めは、プラスチックなどのにおいがしますが、徐々に少なくなります。	▶ お手入れしてください。	P23
クリーンカートリッジにゴミの付着が多い	サイクロンボックスに、ゴミがたまりすぎていませんか。	▶ ゴミをすてて、サイクロンボックスをお手入れしてください。	P16~19
本体・ホース・電源コード・電源プラグ・排気が熱く感じる	夏場など、本体が室温からさらに約30℃熱くなることがあります。	▶ 異常ではありません。	
	モーターを冷却した空気を排気しているため、熱く感じる場合があります。		
エアブロー機能が自動で停止した	エアブロー機能使用中に、手元パイプの動きが約30秒停止すると自動的に運転が停止します。	▶ 「運転」スイッチ、「パワー」スイッチ、「節電」スイッチのいずれかを押しと運転します。	P8~9

当社ホームページ「よくあるご質問 動画集」で取り扱いについて説明しています。
http://www.mitsubishielectric.co.jp/ldg/faqmovie/



当社ホームページ「よくあるご質問 FAQ」もご活用ください。
http://faq01.mitsubishielectric.co.jp/



現象(症状)	原因の確認	処置(操作)方法	参照ページ
別売部品が取り付けられない	<ul style="list-style-type: none"> ●別売部品をご購入した場合は、別売部品に付属している「つぎ手パイプ」を接続してご使用ください。 ●別売部品に付属している「つぎ手パイプ」を紛失した場合はご注文ください。部品番号:【M11 D98 415ET】 	<p>つぎ手パイプ 別売部品 ハキトリ ブラシなど</p> <p>① ② しっかり ねじ込む</p>	
ブローはたきノズルから、はたきが出ない・戻らない	はたきをカートリッジに正しく取りつけていますか。	▶ 正しく取りつけてください。	P25
運転が止まり、操作部のいずれか2つのランプが点滅する	故障の表示です。安全のため電源プラグを抜き、お買上げの販売店にご連絡ください。その際、故障の表示をできるだけ詳しくお知らせください。	▶ ブローはたきノズルは、エアブロー機能専用です。エアブロー機能で使用してください。	P12~13

本体の保護装置について

モーターの過熱を防ぐために、本体の吸込力が自動的に低下します。この状態で運転を続けると、モーターがさらに加熱され、運転が止まります。

操作部	強	または	弱	原因
	ゆっくり点滅			
<ul style="list-style-type: none"> ●本体のホース差込口・ホース・伸縮パイプ・パワーブラシにゴミなどがつまったまま、連続運転した ●吸込口をふさいだまま運転した ●ブローはたきノズルを吸引に使用した ●ゴミ量確認LEDがゴミで見えない ●先の細い吸口を連続使用した ●クリーンカートリッジが目づまりしている 				

直しかた

- ①電源プラグを抜く。
- ②本体のホース差込口・ホース・伸縮パイプ・パワーブラシにゴミなどがつまっていたら、取り除く。
- ③ゴミをすてて、サイクロンボックスをお手入れする。
- ④クリーンカートリッジをお手入れする。

→「運転」スイッチ、「パワー」スイッチ、「節電」スイッチのいずれかを押しと運転します。運転しないときは、少しお待ちください。(時間は周囲温度によって異なります)

P20~21・27
P16~19
P23

パワーブラシの保護装置について (問合わせと修理を依頼される前に次のことをご確認ください)

●パワーブラシのモーターの過熱を防ぐために保護装置が働いて、回転ブラシが止まる場合があります。

原因	<ul style="list-style-type: none"> ●回転ブラシに髪の毛・異物がからんでいる ●通気口にゴミがたまったまま使用した ●回転ブラシを回転させたまま、長時間放置した ●パワーブラシを床面やじゅうたんに強く押しつけた ●特に薄いじゅうたん・毛足の長いじゅうたんを掃除した 	直しかた	<ol style="list-style-type: none"> ①運転「切」にし、電源プラグを抜く ②パワーブラシをお手入れする <p>→保護装置が解除されるまで、約5~10分お待ちください。(時間は周囲温度によって異なります)</p>
----	--	------	---

●本体の保護装置 上記 が働くと、パワーブラシのモーターの過熱を防ぐために回転ブラシが止まります。

モーターの寿命について、知っておいていただきたいこと

掃除機のモーターには寿命があり、寿命の際には通電が遮断されます。このとき、異臭・異音をともなう場合があります。これはモーターの部品(カーボンブラシ)が摩耗する際に発生するものです。

- 以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてからお買上げの販売店にご連絡ください。
- 保証とアフターサービスについては、P30 をご覧ください。

保証とアフターサービス

■保証書(別添)

- 保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。保証書は内容をよくお読みのと、大切に保存してください。

保証期間

お買上げ日から1年です。
保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。ただし、下記の部品は消耗部品ですので、保証期間内でも有料とさせていただきます。
＜本体＞クリーンカートリッジ
＜サイクロンボックス＞お手入れブラシ
＜パワーブラシ＞回転ブラシ、車輪、ふきブラシ、フェルト部
＜手元パイプ・伸縮パイプ＞すみずみブラシ
＜2WAYロングノズル＞毛ブラシ
＜ふとんブラシ＞回転ブラシ、車輪、植毛部
＜ブローはたきノズル＞はたき

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この電気掃除機の補修用性能部品を製造打切り後6年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店か下記の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

■修理を依頼される時は(持込修理)

- 「故障かな?と思ったら」(取扱説明書記載 27~29ページ)にしたがってお調べください。
- なお、不具合があるときは、電源スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定にしたがって、修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品の保有期間が過ぎている場合は、修理できないことがあります。

●修理料金は

技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。

- 技術料…製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
- 部品代…修理に使用した部品代金です。

●修理部品は

部品共有化のため、色等を変更する場合があります。

●ご連絡いただきたい内容

- 1.品名 三菱掃除機
- 2.形名 TC-ZXH30P
- 3.お買上げ日 年 月 日
- 4.故障の状況 (できるだけ具体的に)

■この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

仕様

形名	TC-ZXH30P	
電源	100V 50-60Hz	
運転モード	標準モード	節電モード
消費電力	800W~約600W	800W~約100W※2
吸込仕事率※1	200W~約120W	200W~約10W※2
運転音	64dB~約62dB	64dB~約48dB※2
集じん容量	0.7L	
質量	4.6kg(ホース・伸縮パイプ・パワーブラシ含む)	
コードの長さ	5m	
標準付属品	ホース・伸縮パイプ・パワーブラシ	
応用付属品	2WAYロングノズル・ふとんブラシ・ブローはたきノズル・エアブローノズル・お手入れブラシ(サイクロンボックス装着品)	
印刷物	取扱説明書・早わかりガイド・保証書	
本体寸法	幅:223×奥行:333×高さ:270(mm)	

※1 吸込仕事率は、伸縮パイプ最長時のものです。 ※2 最小値はパワーダウン時の値です。

＜抗菌について＞

部品名	抗菌の確認試験機関名	試験方法	試験結果	抗菌の方法	抗菌の処理を行なっている部品名称
パワーブラシ	(一財)ボーケン品質評価機構	JIS Z 2801に基づく	99%以上	プラスチックに練り込み	回転ブラシ
ふとんブラシ	(一財)ボーケン品質評価機構	JIS Z 2801に基づく	99%以上	プラスチックに練り込み	回転ブラシ

ご相談窓口・修理窓口のご案内(家電品)

取扱い・修理のご相談は、まずお買上げの販売店へ

- お買上げの販売店にご依頼できない場合(転居や贈答品などは、各窓口へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

- 1.お問合わせ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
- 2.上記利用目的のために、お問合わせ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。
- 3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
 - ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
 - ②法令等の定める規定に基づく場合。
- 4.個人情報に関するご相談は、お問合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口 家電品の購入相談・取扱い方法

受付時間365日24時間

●三菱電機お客さま相談センター

フリーダイヤル
ナビダイヤル
0120-139-365 (無料)
いつもサンキュー 365日
●ご相談対応 平日 9:00~19:00
土・日・祝・弊社休日 9:00~17:00
上記以外の時間は受付のみ可能です。
〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3

携帯電話・PHSの場合
TEL 0570-077-365 (有料)
FAX 0570-088-365 (有料)
フリーダイヤル・ナビダイヤルをご利用いただけない場合は
TEL 03-3414-9655 FAX 03-3413-4049

修理窓口 家電品の修理の問合せ・修理の依頼

受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル
ナビダイヤル
インターネット
0120-56-8634 (無料)
http://www.melsc.co.jp
携帯サイト
空メールの送り先: fc8634@melsc.jp
または2次元コードからアクセス。URLをメール返信します。

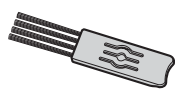
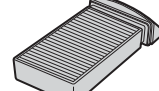





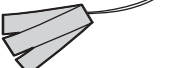
携帯電話・PHSの場合
TEL 0570-01-8634 (有料)
FAX 0570-03-8634 (有料)

- 所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。
- 電話番号をお確かめのうえ、お間違のないようにおかけください。

K16A

消耗部品

お近くの三菱電機ストアか取扱店でお求めください。

お手入れブラシ 部品番号: M11 E40 183 	クリーンカートリッジ 部品番号: M11 E51 300FI 	すみずみブラシ 部品番号: M11 E72 490B 	2WAYロングノズルの毛ブラシ 部品番号: M11 E62 206KB 
パワーブラシの回転ブラシ 部品番号: M11 F02 490M 	ふとんブラシの回転ブラシ 部品番号: M11 E60 490M 	ふとんブラシの車輪 部品番号: M11 E59 111F 	ブローはたきノズルのはたき 部品番号: M11 E81 470 

故障などを防ぐために



この掃除機は家庭用です。業務用としての使用や、お掃除以外の目的には使用しないでください。また、次のことをお守りください。

- ホースなどのピンにさわらない
- 手元パイプや伸縮パイプの先で吸わない
(ブラシ・すみずみブラシ・ノズルなどを)
つけて使用してください
- 殺虫剤、消臭剤などをかけない
- ホースを持ってぶらさげない
- ホースを傷つけない
- 破れたり、傷ついたりしたホースを使わない
- ハンドル以外を持って、本体を持ち運ばない
- エアブロー機能をお掃除以外の目的に使用しない
- ブローはたきノズルをふりまわさない
〔バネが伸びきる原因〕
- 2WAYロングノズルをふりまわさない
〔ノズルが飛び出すことがあります〕
- 本体に乗らない
(特にお子さまに気をつけてください)
- 次のようなものは吸わせない
〔ゴミのつまり、内部の傷つきや故障の原因〕
 - 水などの液体や、湿ったゴミ
 - ペットボトルのふたなど
 - ガラス、ピン、針、つまようじ、綿棒、金属片など
 - 多量の砂や粉(ペット用砂・パウダー状の粉など)
 - 除湿剤
 - ペットなどの排泄物が付着したもの
 - くつした、ティッシュペーパー、ビニール袋、長いひも
 - カーペットのふさなど

お客さま便利メモ (お買上げの際に記入されると便利です)

お買上げ販売店名

電話 ()

お買上げ日

年 月 日

愛情点検



★長年ご使用の掃除機の点検を!

こんな症状は
ありませんか

- スイッチを入れても、運転しない
- 電源プラグやコードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 運転中、時々止まる
- 運転中、異常な音ができる
- 本体が変形したり、異常に熱い
- こげくさいにおいがする
- その他の異常や故障がある

ご使用
中 止

事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグを抜いてから、販売店に点検・修理をご相談ください。

三菱電機株式会社
三菱電機ホーム機器株式会社

〒369-1295 埼玉県深谷市小前田1728-1